

福岡大学学科履修規程

第1章 総 則

第1条 卒業資格を得るための履修は、学則第31条から第34条までの規定及びこの履修規程の定めるところによる。

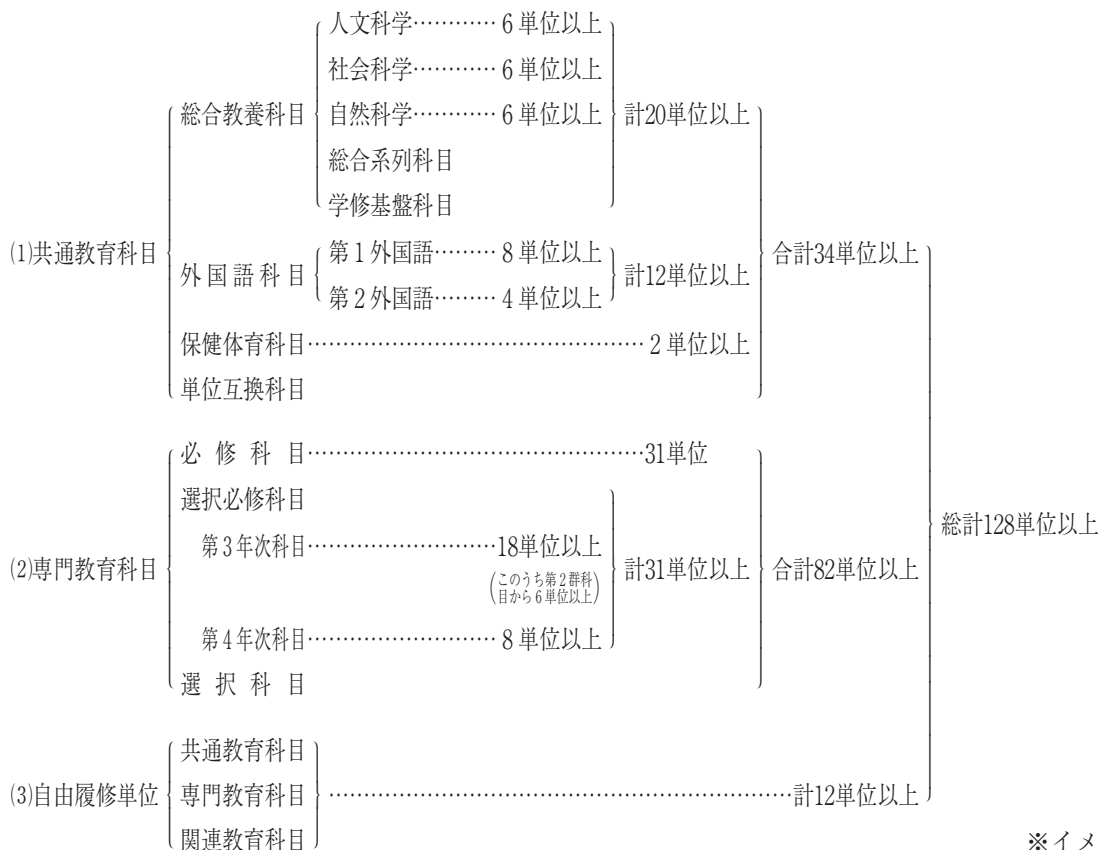
第2章 科目の履修

第2条 (抜粋)

6 理学部(応用数学科、物理数学科、化学科、地球圏数学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

令和6年度入学生(24台)

【応用数学科】 応用数学コース



※イメージ図

- (注) 1 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数(128単位)に算入する。
 2 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの3年次選択必修科目から12単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目の単位数(82単位以上)に含めることができる。

第4条（抜粋） 各年次の学生が履修する授業科目及び単位数は各年次別授業科目表のとおりとする。

令和6年度入学生（24台）

理学部 応用数学科 応用数学コース

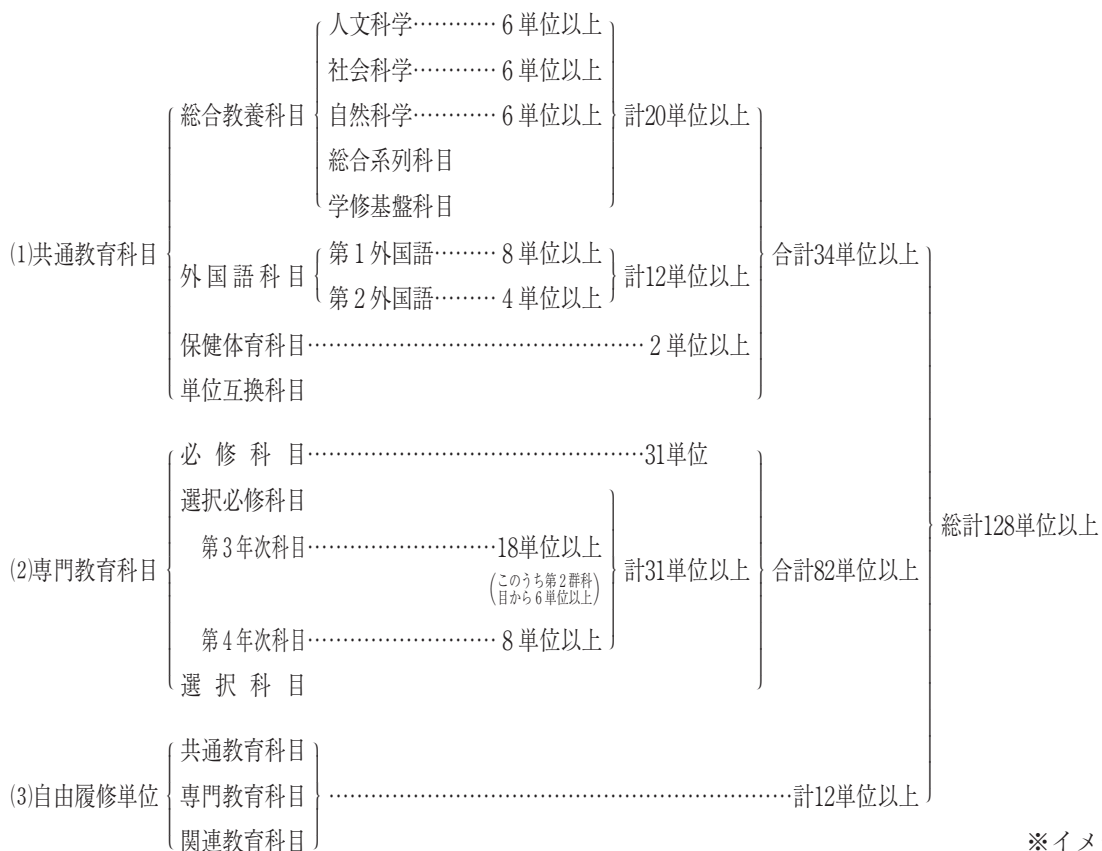
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	社会科学	アジアの文化学A	2	アジアの文化学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸術学A	2	芸術学B	2	本邦教育史A	2	西洋教育史	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学A	2
	社会科学	地理学A	2	地理学B	2	社会心理学A	2	教育の原理・課程論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心の理学B	2
養育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
自然科学	化学A	2							
	化学B	2							
自然科学	地学A	2							
	地学B	2							
自然科学	生物学A	2							
	生物学B	2							
総合系列科目	福岡大学で考える現代社会		2						
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン		2						
	アカデミックスキルズゼミⅠ		2						
学修基盤科目	アカデミックスキルズゼミⅡ		2						
	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか		2						
学修基盤科目	データサイエンス・AI入門		2						
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1		
※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2					
	△ドイツ語ⅠB	2	フランス語Ⅱ	2					
第2	△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
	△フランス語ⅠB	2	中国語Ⅱ	2					
第2	△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2					
	△中国語ⅠB	2	ロシア語Ⅱ	2					
第2	△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
	△ロシア語ⅠB	2	スペイン語Ⅱ	2					
第2	△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2					
	△スペイン語ⅠB	2	朝鮮語Ⅱ	2					
第2	△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2					
	△朝鮮語ⅠB	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	基礎微積分Ⅰ及び演習	3	微積分Ⅱ及び演習	3	基礎数学研究	2	卒業研究Ⅰ	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微積分Ⅲ	2			卒業研究Ⅱ	2	
必修科目	微積分Ⅰ及び演習	3	数学総合Ⅱ	2					
	線形代数及び演習	3	数学総合Ⅲ	2					
必修科目	情報入門Ⅰ	2							
	数学総合Ⅰ	2							
選択必修科目	情報入門Ⅱ	2	代数学序論	2	〔第1群〕		幾何学特論	2	
	幾何学序論	2	微分方程式	2	代数学Ⅰ	4	解析学特論	2	
選択必修科目			確率	2	幾何学Ⅰ	4	数学特論	2	
			プログラミングⅠ及び実習	3	解析学Ⅰ	4	応用数学特論	2	
選択必修科目			応用線形代数入門	2	集合と距離Ⅰ	2	情報科学特論	2	
			応用微積分入門	2	関数	2	数理科学特論	2	
選択必修科目			ネットワーク入門	2	情報数理	2	社会数理・情報特論	2	
					統計	2			
選択必修科目					〔第2群〕				
					応用解析学Ⅱ	4			
選択必修科目					幾何学Ⅱ	4			
					解析学Ⅱ	4			
選択必修科目					集合と距離Ⅱ	2			
					関数論Ⅱ	2			
選択必修科目					離散数学	2			
選択必修科目			情報社会と倫理	2	情報システム論Ⅰ	2			
			数式処理実習	1	情報システム論Ⅱ	2			
選択必修科目			データ処理実習	1	多変量解析	2			
			情報実習	1	ネットワークとセキュリティ	2			
選択必修科目			プログラミングⅡ及び実習	3	マルチメディア概論	2			
					教職のための数学演習	1			
関連教育科目					キャリアデザイン	2			
			マイクロ経済学	4					
		マクロ経済学	4						

(注)〔 〕内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【応用数学科】 応用数学コース



※イメージ図

- (注) 1 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
- 2 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの3年次選択必修科目から12単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目の単位数（82単位以上）に含めることができる。

令和5年度入学生（23台）

理学部 応用数学科 応用数学コース

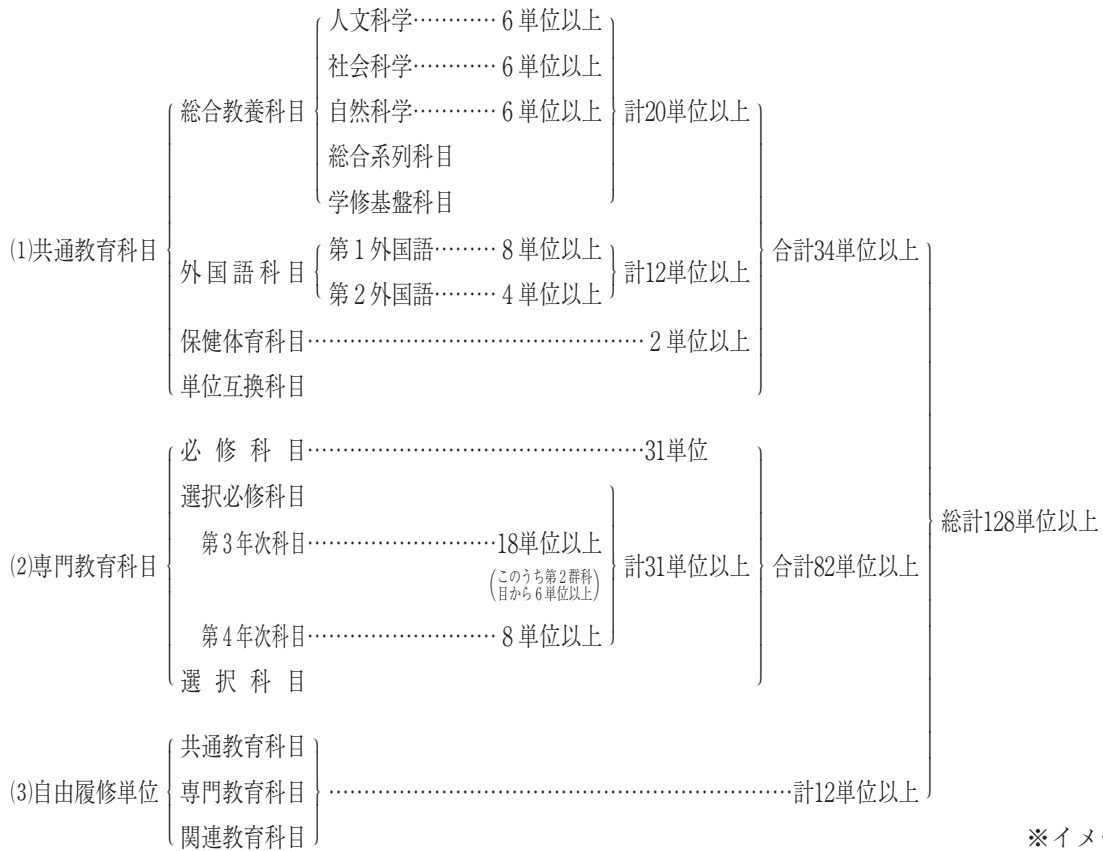
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2	
	芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	経済学A	2	日経社会学B	2	政治学A	2
	地理学A	2	社会学A	2	日経社会学B	2	教育の原理・課程論	2	
	文化人類学A	2	文化人類学B	2	日経社会学A	2	心理教育学B	2	
養育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
総合系科目	福岡大学で考える現代社会	2							
	学修基盤科目	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1		
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2					
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1							
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		△ドイツ語ⅠB	2	フランス語Ⅱ	2				
		△フランス語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2				
		△フランス語ⅠB	2	ロシア語Ⅱ	2				
		△中国語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2				
		△中国語ⅠB	2	朝鮮語Ⅱ	2				
△ロシア語ⅠA		2							
△ロシア語ⅠB		2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分Ⅱ及び演習	3	基礎数学研究	2	卒業研究Ⅰ	2
		基礎線形代数及び演習	3	微分積分Ⅲ	2			卒業研究Ⅱ	2
	微分積分Ⅰ及び演習	3	数学総合Ⅱ	2					
選択必修科目		線形代数及び演習	3	数学総合Ⅲ	2				
		情報入門Ⅰ	2						
情報学		数学総合Ⅰ	2						
		情報入門Ⅱ	2						
幾何学		幾何学序論	2	代数学序論	2	[第1群]		幾何学特論	2
				微分方程式	2	代数学Ⅰ	4	解析学特論	2
確率				確率	2	幾何学Ⅰ	4	数学特論	2
				プログラミングⅠ及び実習	3	解析学Ⅰ	4	応用数学特論	2
応用線形代数				応用線形代数入門	2	集合と距離	2	情報数学特論	2
				応用微分積分入門	2	関数論Ⅰ	2	数理科特論	2
ネットワーク				ネットワーク入門	2	情報数理Ⅰ	2	社会数理・情報特論	2
						情報数理Ⅱ	2		
応用解析						[第2群]			
						応用解析学Ⅱ	4		
幾何学Ⅱ						幾何学Ⅱ	4		
						集合と距離Ⅱ	2		
関数論Ⅱ						関数論Ⅱ	2		
						関数論Ⅱ	2		
離散数学						離散数学	2		
情報システム論Ⅰ				情報社会と倫理	2	情報システム論Ⅰ	2		
				数式処理実習	1	情報システム論Ⅱ	2		
情報システム論Ⅱ				データ処理実習	1	多変量解析	2		
				情報実習	1	ネットワークとセキュリティ	2		
ネットワークとセキュリティ				プログラミングⅡ及び実習	3	マルチメディア概論	2		
						教職のための数学演習	1		
インターンシップ						インターンシップ	2		
関連教育科目			ミクロ経済学	4					
			マクロ経済学	4					

(注) []内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【応用数学科】 応用数学コース



※イメージ図

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 3 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目の単位数（82単位以上）に含めることができる。

令和4年度入学生(22台)

理学部 応用数学科 応用数学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	アジアの文化芸術A	2	アジアの文化芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
	自然科学	商学B	2	経済学A	2	日経社会	2	教育の原理・課程論	2
		社会学B	2	社会学A	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2
	総合系科目	文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
		第1年次	単位	第2年次	単位	第3年次	単位	第4年次	単位
学修基盤科目	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
外国語科目	化学A	2							
	化学B	2							
保健体育科目	地学A	2							
	地学B	2							
単位互換科目	地学C	2							
	地学D	2							
必修科目	環境学A	2							
	環境学B	2							
選択必修科目	生命・健康と医療	2							
	国際化と日本	2							
選択科目	科学・技術・情報と社会	2							
	文化と教育	2							
関連教育科目	現代を生きる	2							
	福大生のためのキャリアデザイン	2							
必修科目	アカデミックスキルズゼミⅠ	2							
	アカデミックスキルズゼミⅡ	2							
選択必修科目	福大大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
	データサイエンス・AI入門	2							
選択科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
必修科目	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2					
	△ドイツ語ⅠB	2							
選択必修科目	△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
	△フランス語ⅠB	2							
選択科目	△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2					
	△中国語ⅠB	2							
必修科目	△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
	△ロシア語ⅠB	2							
選択必修科目	△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2					
	△スペイン語ⅠB	2							
選択科目	△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2					
	△朝鮮語ⅠB	2							
必修科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
選択必修科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	基礎微積分及び演習	3	微積分Ⅱ及び演習	3	基礎数学研究	2	卒業研究Ⅰ	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微積分Ⅲ	2			卒業研究Ⅱ	2	
選択必修科目	微積分Ⅰ及び演習	3	数学Ⅱ	2					
	線形代数及び演習	3	数学Ⅲ	2					
選択必修科目	情報入門Ⅰ	2	数学Ⅳ	2					
	情報入門Ⅱ	2	数学Ⅴ	2					
選択必修科目	幾何学序論	2	代数学序論	2	[第1群]		幾何学特論	2	
			微分方程式	2	代数学I	4	解析学特論	2	
選択必修科目			確率	2	幾何学II	4	数学特論	2	
			プログラミングI及び実習	3	解析学I	4	応用数学特論	2	
選択必修科目			応用線形代数入門	2	集合と距離I	2	情報数学特論	2	
			応用微積分入門	2	関数論I	2	数理科特論	2	
選択必修科目			ネットワーク入門	2	情報統計	2	社会数理・情報特論	2	
					情報学	2			
選択必修科目					[第2群]				
					応用解析学	4			
選択必修科目					幾何学II	4			
					集合と距離II	2			
選択必修科目					関数論II	2			
					散点数学	2			
選択必修科目									
					情報システム論I	2			
選択必修科目					情報システム論II	2			
					多変量解析	2			
選択必修科目					ネットワークとセキュリティ	2			
					マルチメディア概論	2			
選択必修科目					教職のための数学演習	1			
					インターンシップ	2			
関連教育科目									
関連教育科目									

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【応用数学科】 応用数学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上				
		自然科学…………… 6 単位以上				
		総合系列科目				
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}			
	第2外国語…………… 4 単位以上					
	保健体育科目…………… 2 単位以上					
	単位互換科目					
(2)専門教育科目	必修科目…………… 31 単位	計31単位以上	}	合計82単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目					
	第3年次科目…………… 18 単位以上 (このうち第2群科目から6単位以上)					
	第4年次科目…………… 8 単位以上					
	選択科目					
(3)自由履修単位	共通教育科目			計12単位以上		
	専門教育科目					
	関連教育科目					

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	アジアの文化芸術A	2	アジアの文化芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		政治学A	2	法経社会学A	2	日本国憲法	2	政治学A	2
	養科	商社会学B	2	社会学A	2	日経社会心理学B	2	教育の原理・課程論	2
		地理学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心の理学B	2
	科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
総合系科目	化学A	2							
	化学B	2							
地球環境	地学A	2							
	地学B	2							
生命科学・健康と医療	生物学A	2							
	生物学B	2							
国際化と日本	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
文化と教育	文化と教育	2							
	現代を生きる	2							
外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1			
保健体育科目	※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修						
	※フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
単位互換科目	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II						
	△ドイツ語IB	2	フランス語II						
第1	△フランス語IA	2	中国語II						
	△フランス語IB	2	ロシア語II						
第2	△中国語IA	2	スペイン語II						
	△中国語IB	2	朝鮮語II						
単位互換科目	△ロシア語IA	2							
	△ロシア語IB	2							
単位互換科目	△スペイン語IA	2							
	△スペイン語IB	2							
単位互換科目	△朝鮮語IA	2							
	△朝鮮語IB	2							
単位互換科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
単位互換科目			生涯スポーツ論	2					
	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分Ⅱ及び演習	3	基礎数学研究	2	卒業研究Ⅰ	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微分積分Ⅲ	2			卒業研究Ⅱ	2	
選択必修科目	微分積分Ⅰ及び演習	3	数学総合Ⅱ	2					
	線形代数及び演習	3	数学総合Ⅲ	2					
選択必修科目	情報入門Ⅰ	2	代数学序論	2	[第1群]		幾何学特論	2	
	数学総合Ⅰ	2	微分方程式	2	代数学Ⅰ	4	解析学特論	2	
選択必修科目	情報入門Ⅱ	2	確率	2	幾何学Ⅰ	4	数学特論	2	
	幾何学序論	2	プログラミングⅠ及び実習	3	解析学Ⅰ	4	応用数学特論	2	
選択必修科目			応用線形代数入門	2	集合と距離Ⅰ	2	情報数学特論	2	
			応用微分積分入門	2	関数論Ⅰ	2	数理学特論	2	
選択必修科目			ネットワーク入門	2	情報数理論計	2	社会数理・情報特論	2	
					[第2群]				
選択必修科目					応用解析学Ⅰ	4			
					幾何学Ⅱ	4			
選択必修科目					解析学Ⅱ	4			
					集合と距離Ⅱ	2			
選択必修科目					関数論Ⅱ	2			
					散点数学	2			
選択必修科目					情報システム論Ⅰ	2			
					情報システム論Ⅱ	2			
選択必修科目					多変量解析	2			
					ネットワークとセキュリティ	2			
選択必修科目					マルチメディア概論	2			
					教職のための数学演習	1			
選択必修科目					インターンシップ	2			
関連教育科目			ミクロ経済学	4					
			マクロ経済学	4					

(注) []内は今年度休講。

平成30年度入学生（18台）

【応用数学科】 応用数学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上			
		自然科学…………… 6 単位以上			
		総合系列科目			
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}	
		第2外国語…………… 4 単位以上			
		保健体育科目…………… 2 単位以上			
		単位互換科目			
(2)専門教育科目		必修科目…………… 31 単位	計31単位以上	}	合計82単位以上
		選択必修科目			
		第3年次科目…………… 18 単位以上 (このうち第2群科目から6単位以上)			
		第4年次科目…………… 8 単位以上			
		選択科目			
(3)自由履修単位	共通教育科目				}
	専門教育科目			計12単位以上	
	関連教育科目				
					総計128単位以上

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

平成30年度入学生 (18台)

理学部 応用数学科 応用数学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋学A	2	東洋学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	西中芸	2	西中芸	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		国文	2	国文	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	第1年次	政治学A	2	法経学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	政治学B	2
	第2年次	地学A	2	社会学B	2	社会学A	2	教育原論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
自然科学	物理学A		2	統計		2			
	物理学B		2						
総合系科目	化学A		2						
	化学B		2						
第1	地学A		2						
	地学B		2						
第2	生物A		2						
	生物B		2						
外国語科目	地球環境学		2						
	生命健康と医療		2						
保健体育科目	国際化と日本		2						
	科学技術・情報と社会		2						
単位互換科目	文化と教育		2						
	現代を生きる		2						
外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ		
	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ		
外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ		1	海外英語研修		2			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ		1						
外国語科目	△ドイツ語ⅠA		2	ドイツ語Ⅱ		2			
	△ドイツ語ⅠB		2						
外国語科目	△フランス語ⅠA		2	フランス語Ⅱ		2			
	△フランス語ⅠB		2						
外国語科目	△中国語ⅠA		2	中国語Ⅱ		2			
	△中国語ⅠB		2						
外国語科目	△ロシア語ⅠA		2	ロシア語Ⅱ		2			
	△ロシア語ⅠB		2						
外国語科目	△スペイン語ⅠA		2	スペイン語Ⅱ		2			
	△スペイン語ⅠB		2						
外国語科目	△朝鮮語ⅠA		2	朝鮮語Ⅱ		2			
	△朝鮮語ⅠB		2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1	生涯スポーツ演習Ⅲ		1			
	※生涯スポーツ演習Ⅱ		1	生涯スポーツ演習Ⅳ		1			
保健体育科目				生涯スポーツ論		2			
単位互換科目		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目							
必修科目	基礎微分積分及び演習		3	微分積分Ⅱ及び演習		3	基礎数学研究		2
	基礎線形代数及び演習		3	微分積分Ⅲ		2	卒業研究Ⅰ		2
必修科目	微分積分Ⅰ及び演習		3	数学総合Ⅱ		2	卒業研究Ⅱ		2
	線形代数及び演習		3	数学総合Ⅲ		2			
必修科目	情報入門Ⅰ		2						
	数学総合Ⅰ		2						
必修科目	情報入門Ⅱ		2						
	幾何学序論		2	代数学序論		2	幾何学特論		2
選択必修科目				微分方程式		2	解析学特論		2
				確率		2	数学特論		2
選択必修科目				プログラミングⅠ及び実習		3	応用数学特論		2
				応用線形代数入門		2	情報数学特論		2
選択必修科目				応用微分積分入門		2	数理論理学特論		2
				ネットワーク入門		2	社会数理・情報特論		2
選択必修科目				情報システム論Ⅰ		2			
				情報システム論Ⅱ		2			
選択必修科目				多変量解析		2			
				ネットワークとセキュリティ		2			
選択必修科目				マルチメディア概論		2			
				教職のための数学演習		1			
選択必修科目				インターンシップ		2			
関連教育科目				マイクロ経済学		4			
関連教育科目				マクロ経済学		4			

(注) [] 内は今年度休講。

平成29年度入学生（17台）

【応用数学科】 応用数学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上			
		自然科学…………… 6 単位以上			
}	総合系列科目				
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}	
		第2外国語…………… 4 単位以上			
	保健体育科目…………… 2 単位以上				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 29 単位		計33単位以上	}	合計82単位以上
	選択必修科目				
	第3年次科目…………… 18 単位以上				
	(このうち第2群科目から6単位以上)				
	第4年次科目…………… 8 単位以上				
	選択科目				
(3)自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	総計128単位以上
	専門教育科目				
	関連教育科目				

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
- 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
- 3 応用数学コースの専門教育科目として開講されていない社会数理・情報インスティテュートコースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

平成29年度入学生 (17台)

理学部 応用数学科 応用数学コース

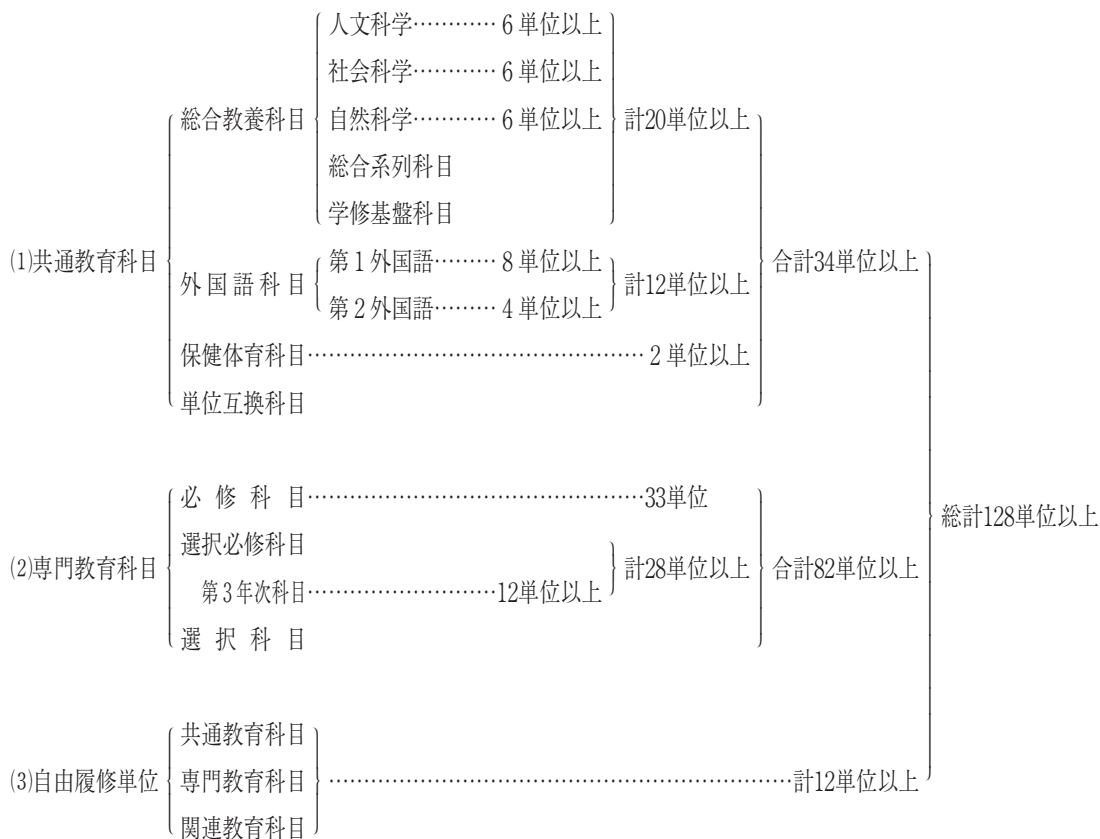
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	西中芸	2	西中芸	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		国文	2	国文	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	第1年次	政治学A	2	法経学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	政治学B	2
	第2年次	地学A	2	社会学B	2	社会学A	2	教育原論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
第3年次	統 計		統 計		統 計		統 計		
	統 計		統 計		統 計		統 計		
第4年次	統 計		統 計		統 計		統 計		
	統 計		統 計		統 計		統 計		
自然科学	物理学A	2	統計	統計	2				
	物理学B	2							
総合系列科目	化学A	2							
	化学B	2							
地球環境	地学A	2							
	地学B	2							
生命・健康と医療	生物学A	2							
	生物学B	2							
国際化と日本	国際化と日本	2							
	国際化と日本	2							
科学・技術・情報と社会	科学・技術・情報と社会	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
文化と教育	文化と教育	2							
	文化と教育	2							
現代を生きる	現代を生きる	2							
	現代を生きる	2							
第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1			
第2	※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修		2				
	※フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
△ドイツ語I A	△ドイツ語I B	2	ドイツ語II	2					
	△ドイツ語I A	2	フランス語II	2					
△フランス語I A	△フランス語I B	2	中国語II	2					
	△フランス語I A	2	ロシア語II	2					
△中国語I A	△中国語I B	2	スペイン語II	2					
	△中国語I A	2	朝鮮語II	2					
△ロシア語I A	△ロシア語I B	2							
	△ロシア語I A	2							
△スペイン語I A	△スペイン語I B	2							
	△スペイン語I A	2							
△朝鮮語I A	△朝鮮語I B	2							
	△朝鮮語I A	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	基礎微積分及び演習	3	微積分Ⅱ及び演習	3	基礎数学研究	2	卒業研究Ⅰ	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微積分Ⅲ	2			卒業研究Ⅱ	2	
選択必修科目	微積分Ⅰ及び演習	3	数学総合Ⅱ	2					
	線形代数及び演習	3	数学総合Ⅲ	2					
情報入門Ⅰ	情報入門Ⅱ	2	代数学序論	2	[第1群]		幾何学特論	2	
	情報学序論	2	微分方程式	2	代数学Ⅰ	4	解析学特論	2	
幾何学序論			確率	2	幾何学Ⅱ	4	応用数学特論	2	
			プログラミングⅠ及び実習	3	解析と距離Ⅰ	4	情報数学特論	2	
代数学序論			応用線形代数入門	2	関数論Ⅰ	2	数理科特論	2	
			ネットワーク入門	2	情報数理統計	2	社会数理・情報特論	2	
情報社会と倫理					[第2群]				
			情報システム論Ⅰ	2	応用解析学Ⅰ	4			
数式処理実習			情報システム論Ⅱ	2	幾何学Ⅱ	4			
			データ処理実習	1	解析と距離Ⅱ	4			
情報実習			多変量解析	2	関数論Ⅱ	2			
			情報実習	1	集合と距離論	2			
プログラミングⅡ及び実習			ネットワークとセキュリティ	2	関数論Ⅲ	2			
			プログラミングⅡ及び実習	3	散点数学	2			
マイクロ経済学									
マクロ経済学									

(注) ()内は今年度休講。

令和6年度入学生（24台）

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
- 2 第4年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）のうちから6単位以上修得しなければならない。
- 3 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの3年次選択必修科目から12単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目単位数（82単位以上）に含めることができる。

令和6年度入学生(24台)

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

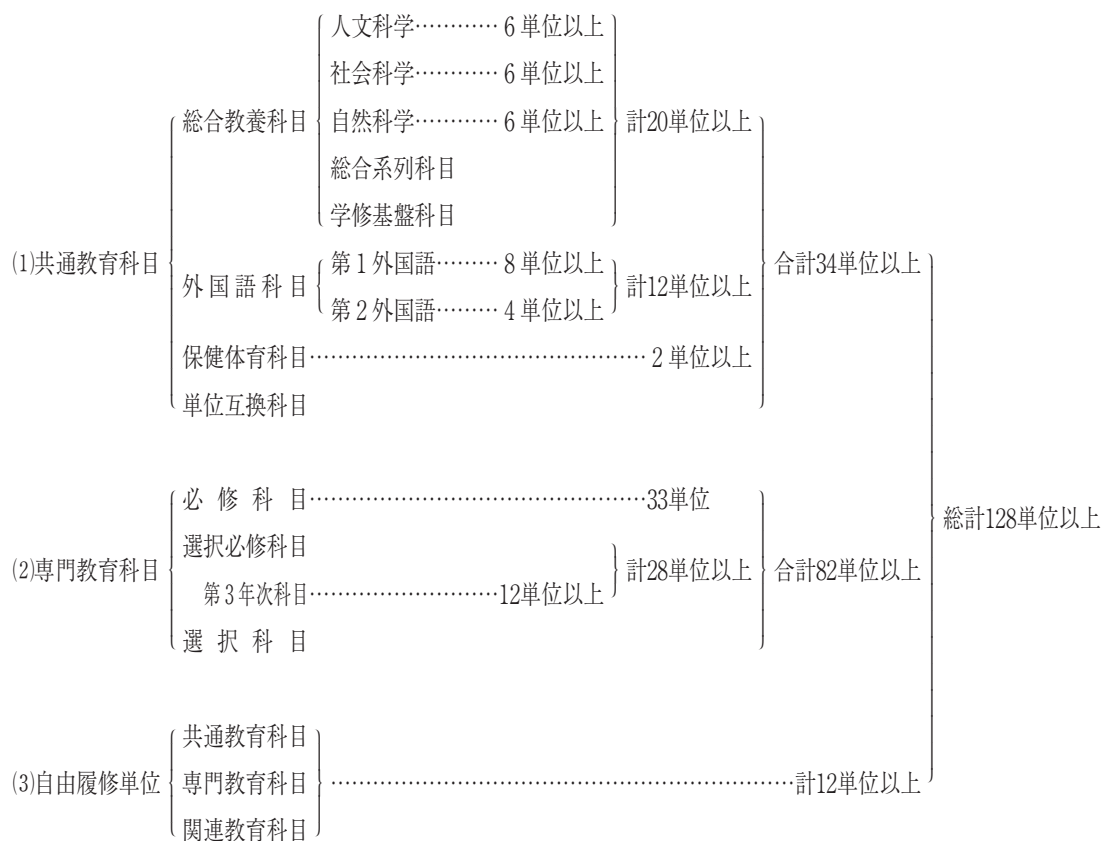
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	自然科学	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸学A	2	芸学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		政治学B	2	経済学A	2	経済学B	2	商学A	2
		商地学B	2	社会学A	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2
		地理学A	2	文化人類学A	2	心理学A	2	心理学B	2
文化人類学A		2	文化人類学B	2					
第1年次		第2年次	第3年次	第4年次					
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2							
	アカデミックスキルズゼミⅠ	2							
外国語科目	アカデミックスキルズゼミⅡ	2							
	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
第1	データサイエンス・AI入門	2							
	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2					
第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	ドイツ語Ⅱ	2					
	△ドイツ語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
保健体育科目	△ドイツ語ⅠB	2	中国語Ⅱ	2					
	△フランス語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
単位互換科目	△フランス語ⅠB	2	スペイン語Ⅱ	2					
	△中国語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2					
必修科目	△中国語ⅠB	2	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	△ロシア語ⅠA	2	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
選択必修科目	△ロシア語ⅠB	2	生涯スポーツ論	2					
	△スペイン語ⅠA	2							
選択科目	△スペイン語ⅠB	2							
	△朝鮮語ⅠA	2							
基礎研究Ⅰ	△朝鮮語ⅠB	2							
	△基礎微分積分及び演習	3							
基礎研究Ⅱ	△基礎線形代数及び演習	3							
	△微分積分Ⅰ及び演習	3							
卒業研究Ⅰ	△線形代数及び演習	3							
	△情報入門Ⅰ	2							
卒業研究Ⅱ	△社会数理のための数学実習Ⅰ	1							
	△社会数理のための数学実習Ⅱ	1							
システム分析特論	△情報入門Ⅱ	2							
	△基礎微分積分Ⅱ及び演習	3							
システム分析実習	△微分積分Ⅲ	3							
	△社会数理のための数学実習Ⅲ	1							
データ解析特論	△プログラミングⅡ及び実習	3							
	△応用線形代数入門	2							
データ解析実習	△微分方程式	2							
	△確率	2							
社会数理・情報特論	△数式処理実習	1							
	△データ処理実習	1							
情報数学特論	△ネットワーク入門	2							
	△数理モデルⅠ	2							
数理科学特論	△数理モデルⅡ	2							
	△意志決定の数理	2							
応用数学特論	△リスク管理の数理	2							
	△システムプログラミング	4							
情報数理	△数理ファイナンス	4							
	△アルゴリズムとデータ構造	2							
情報システム論Ⅰ	△情報数理	2							
	△ネットワークとセキュリティ	2							
情報システム論Ⅱ	△多変量解析	2							
	△離散数学	2							
マルチメディア概論	△関数論Ⅰ	2							
	△関数論Ⅱ	2							
教職のための数学演習	△集合と距離Ⅰ	2							
	△集合と距離Ⅱ	2							
キャリアデザイン	△情報システム論Ⅰ	2							
	△情報システム論Ⅱ	2							
簿記原理	△マルチメディア概論	2							
	△教職のための数学演習	1							
関連教育科目	△キャリアデザイン	2							
	△マイクロ経済学	4							
マクロ経済学	△マクロ経済学	4							
	△他大学(短期大学を含む)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								

(注) []内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
- 2 第4年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）のうちから6単位以上修得しなければならない。
- 3 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの3年次選択必修科目から12単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目単位数（82単位以上）に含めることができる。

令和5年度入学生 (23台)

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

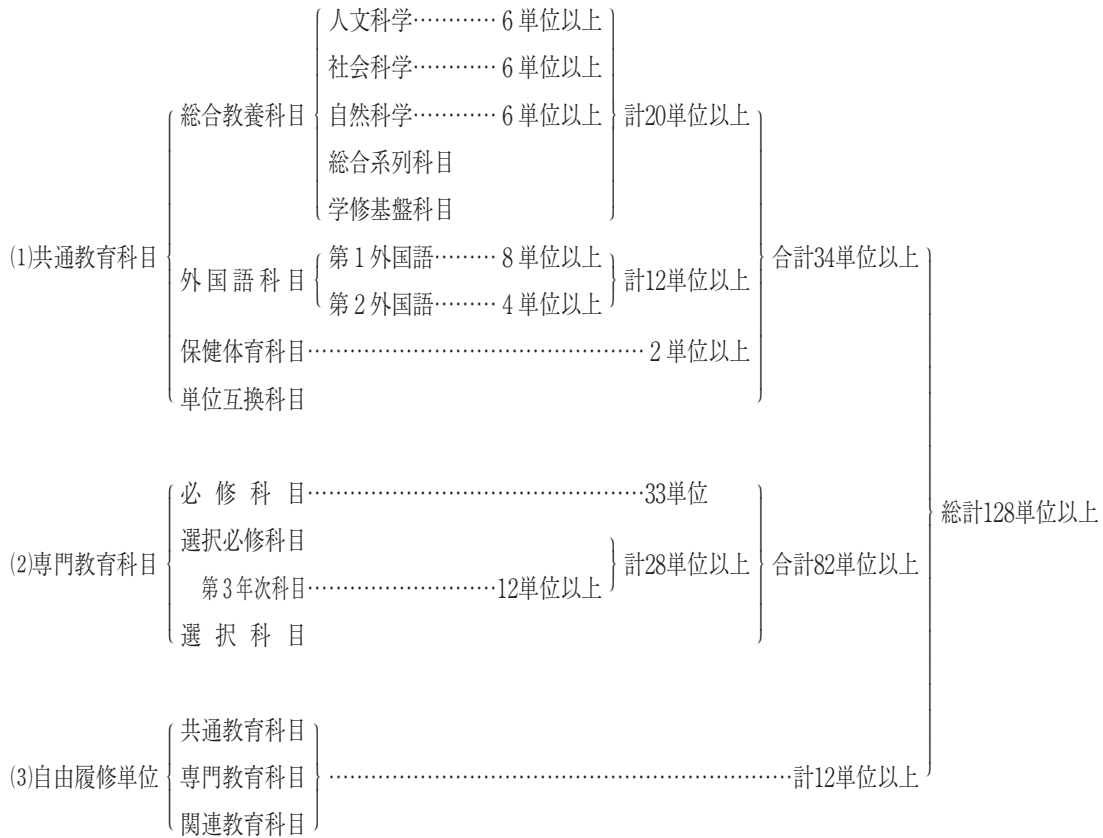
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	宗東洋史A	2	宗東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	自然科学	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸学A	2	芸学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		政治学B	2	経済学A	2	経済学B	2	商学A	2
		商地学B	2	社会学A	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
学修基盤科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
外国語科目	第1	物理学A	2	統計	2				
		物理学B	2		※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1	
	化学A	2			※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1	
	化学B	2			海外英語研修	2			
	地学A	2							
	地学B	2							
	生物学A	2							
	生物学B	2							
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ		1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1			
		※生涯スポーツ演習Ⅱ		1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1			
				生涯スポーツ論	2				
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	基礎微積分及び演習	3	微積分Ⅱ及び演習	3	基礎研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅰ	2
		基礎線形代数及び演習	3	微積分Ⅲ	2	基礎研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅱ	2
	微積分Ⅰ及び演習	3	社会数理のための数学実習Ⅲ	1					
	線形代数及び演習	3	プログラミングⅡ及び実習	3					
	情報入門Ⅰ	2							
	社会数理のための数学実習Ⅰ	1							
	社会数理のための数学実習Ⅱ	1							
	情報入門Ⅱ	2	応用線形代数入門	2	意志決定の数理	2	システム分析特論	2	
	選択必修科目		応用微積分入門	2	リスク管理の数理	2	システム分析実習	1	
			微分方程式	2	システムプログラミング	4	データ解析特論	2	
		確率	2	数理ファイナンス	4	データ解析実習	1		
		数式処理実習	1	アルゴリズムとデータ構造	2	社会数理・情報特論	2		
		データ処理実習	1	情報数理	2	情報数学特論	2		
		ネットワーク入門	2	数理統計	2	数理科学特論	2		
選択科目		数理モデルⅠ	2	多変量解析	2				
		数理モデルⅡ	2	ネットワークとセキュリティ	2				
		プログラミングⅠ及び実習	3	離散数学	2	応用数学特論			
		代数学序論	2	関数論Ⅰ	2				
		情報社会と倫理	2	関数論Ⅱ	2				
		情報実習	1	集合と距離Ⅰ	2				
関連教育科目		幾何学序論	2	集合と距離Ⅱ	2				
				情報システム論Ⅰ	2				
				情報システム論Ⅱ	2				
				マルチメディア概論	2				
				教職のための数学演習	1				
				インターンシップ	2				
				簿記原理	4				
				ミクロ経済学	4				
				マクロ経済学	4				

(注) [] 内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 3 第 4 年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）のうちから 6 単位以上修得しなければならない。
 4 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの 3 年次選択必修科目から 12 単位を限度として、卒業に必要な専門教育科目単位数（82 単位以上）に含めることができる。

令和4年度入学生（22台）

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

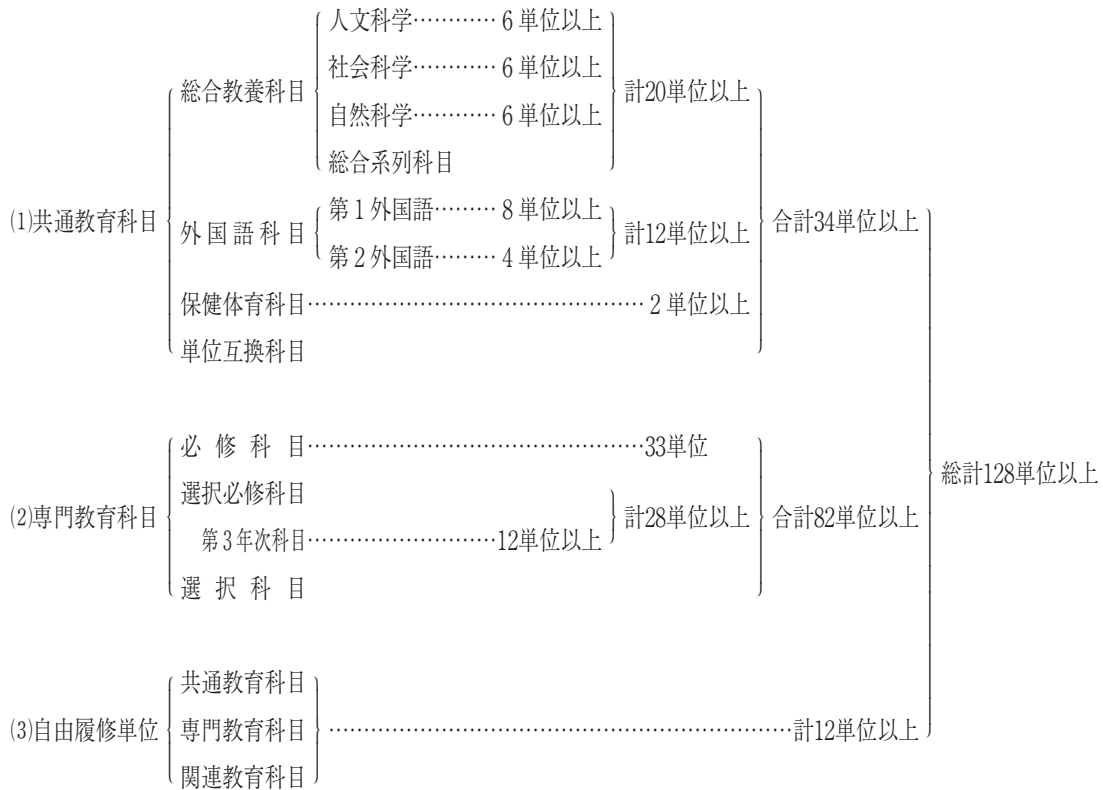
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学研究A	2	宗教学研究B	2	
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
		西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	自然科学	芸術A	2	芸術B	2	西日本文学A	2	西日本文学B	2	
		法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
		政治学B	2	経済学A	2	日本国憲法	2	政治学B	2	
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商教育の原理・課程論	2	
		地理学A	2	文化人類学A	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2	
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2	
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
	総合系列科目	物理学A	2	統計	2					
		物理学B	2							
		化学A	2							
化学B		2								
学修基盤科目	地学A	2								
	環境学	2								
	生命・健康と医療	2								
外国語科目	国際化と日本	2								
	科学・技術・情報と社会	2								
	文化と教育	2								
	現代を生きる	2								
	福大生のためのキャリアデザイン	2								
	アカデミックスキルズゼミⅠ	2								
	アカデミックスキルズゼミⅡ	2								
	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2								
	データサイエンス・AI入門	2								
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1			
第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1				
	△フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2						
	△フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1								
	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2						
	△ドイツ語ⅠB	2								
	△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2						
	△フランス語ⅠB	2								
	△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2						
	△中国語ⅠB	2								
	△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2						
△ロシア語ⅠB	2									
△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2							
△スペイン語ⅠB	2									
△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2							
△朝鮮語ⅠB	2									
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1						
		生涯スポーツ論	2							
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分Ⅱ及び演習	3	基礎研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅰ	2	
		基礎線形代数及び演習	3	微分積分Ⅲ	2	基礎研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅱ	2	
		微分積分Ⅰ及び演習	3	社会数理のための数学実習Ⅲ	1					
	選択必修科目	線形代数及び演習	3	プログラミングⅡ及び実習	3					
		情報入門Ⅰ	2							
		社会数理のための数学実習Ⅰ	1	応用線形代数入門	2	意志決定の数理	2	システム分析特論	2	
		社会数理のための数学実習Ⅱ	1	応用微分積分入門	2	リスク管理の数理	2	システム分析実習	2	
		情報入門Ⅱ	2	微分方程式	2	システムプログラミング	4	データ解析特論	2	
				確率	2	数理ファイナンス	4	データ解析実習	1	
				数式処理実習	1	アルゴリズムとデータ構造	2	社会数理・情報特論	2	
選択科目			データ処理実習	1	情報数理	2	情報数学特論	2		
			ネットワーク入門	2	数理統計	2	数理科学特論	2		
			数理モデルⅠ	2	多変量解析	2				
			数理モデルⅡ	2	ネットワークとセキュリティ	2				
			プログラミングⅠ及び実習	3	離散数学	2	応用数学特論	2		
			代数学序論	2	関数論Ⅰ	2				
			情報社会と倫理	2	関数論Ⅱ	2				
関連教育科目			情報実習	1	集合と距離Ⅰ	2				
					集合と距離Ⅱ	2				
					情報システム論Ⅰ	2				
					情報システム論Ⅱ	2				
					マルチメディア概論	2				
					教職のための数学演習	1				
					インターシッ	2				
					簿記原	4				

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 第 4 年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）から 6 単位以上修得しなければならない。
 4 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

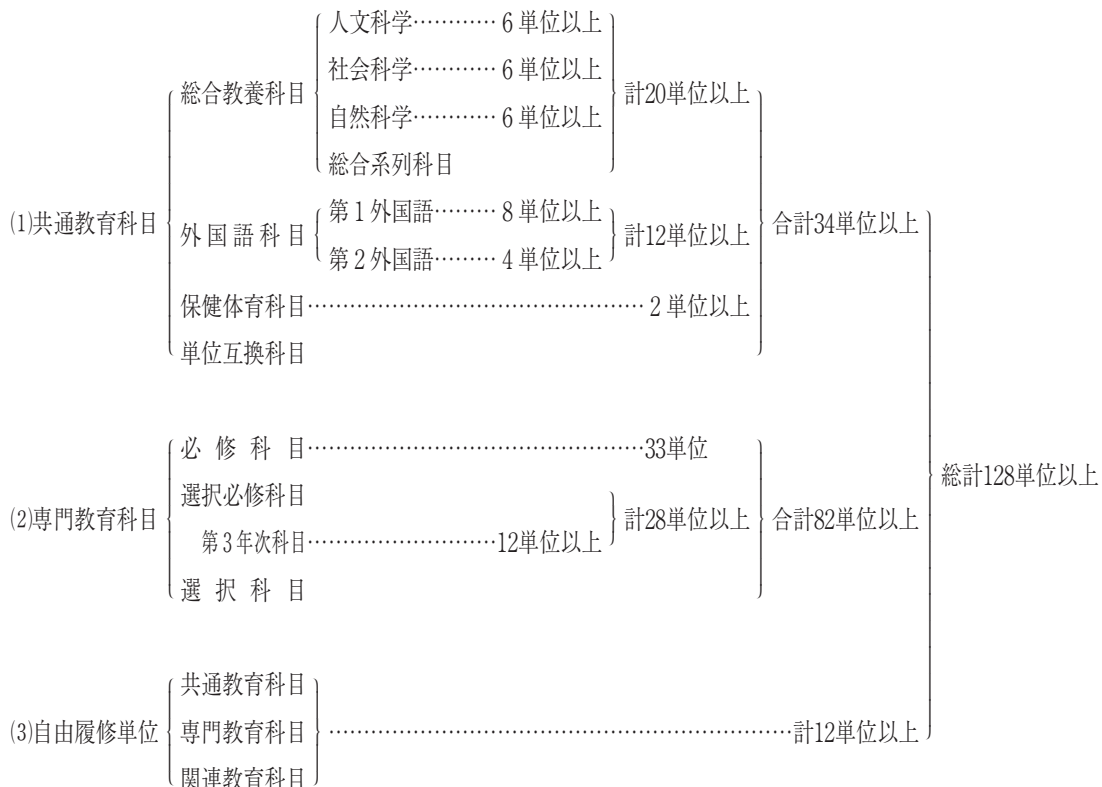
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西本文学A	2	西本文学B	2
		芸術A	2	芸術B	2	西本文学A	2	西洋教育史	2
	第1年次	政治学A	2	法経学A	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	日経社会学B	2	政治学A	2
	第2年次	地理学A	2	社会学B	2	日経社会学B	2	教育の原理・課程論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	日経社会学A	2	心理科学	2
第3年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
総合系列科目	化学A	2							
	化学B	2							
外国語科目	地学A	2							
	地学B	2							
保健体育科目	生物A	2							
	生物B	2							
単位互換科目	地球環境	2							
	生命・健康と医療	2							
第1	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
第2	文化と教育	2							
	現代を生きる	2							
第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1			
第2	△フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修	2					
	△フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
第1	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
	△ドイツ語IB	2							
第2	△フランス語IA	2	フランス語II	2					
	△フランス語IB	2							
第3	△中国語IA	2	中国語II	2					
	△中国語IB	2							
第4	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
	△ロシア語IB	2							
第5	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2					
	△スペイン語IB	2							
第6	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2					
	△朝鮮語IB	2							
単位互換科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目							
必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分II及び演習	3	基礎研究I	2	卒業研究I	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微分積分III	2	基礎研究II	2	卒業研究II	2	
選択必修科目	微分積分I及び演習	3	社会数理のための数学実習III	1					
	線形代数及び演習	3	プログラミングII及び実習	3					
選択科目	情報入門I	2							
	社会数理のための数学実習I	1							
関連教育科目	社会数理のための数学実習II	1							
	情報入門II	2	応用線形代数入門	2	意志決定の数理	2	システム分析特論	2	
必修科目			応用微分積分入門	2	リスク管理の数理	2	システム分析実習	1	
			微分方程式	2	システムプログラミング	4	データ解析特論	2	
選択必修科目			確率	2	数理ファイナンス	4	データ解析実習	1	
			数式処理実習	1	アルゴリズムとデータ構造	2	社会数理・情報特論	2	
選択科目			データ処理実習	1	情報数理	2	情報数学特論	2	
			ネットワーク入門	2	数理統計	2	数理科学特論	2	
関連教育科目			数理モデルI	2	多変量解析	2			
			数理モデルII	2	ネットワークとセキュリティ	2			
必修科目			プログラミングI及び実習	3	離散数学	2	応用数学特論	2	
			代数学序論	2	関数論I	2			
選択科目			情報社会と倫理	2	関数論II	2			
			情報実習	1	集合と距離I	2			
関連教育科目					集合と距離II	2			
					情報システム論I	2			
必修科目					情報システム論II	2			
					マルチメディア概論	2			
選択科目					教職のための数学演習	1			
					インターンシップ	2			
関連教育科目					簿記原理	4			

(注) []内は今年度休講。

平成30年度入学生（18台）

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 第 4 年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）から 6 単位以上修得しなければならない。
 4 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

平成30年度入学生 (18台)

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

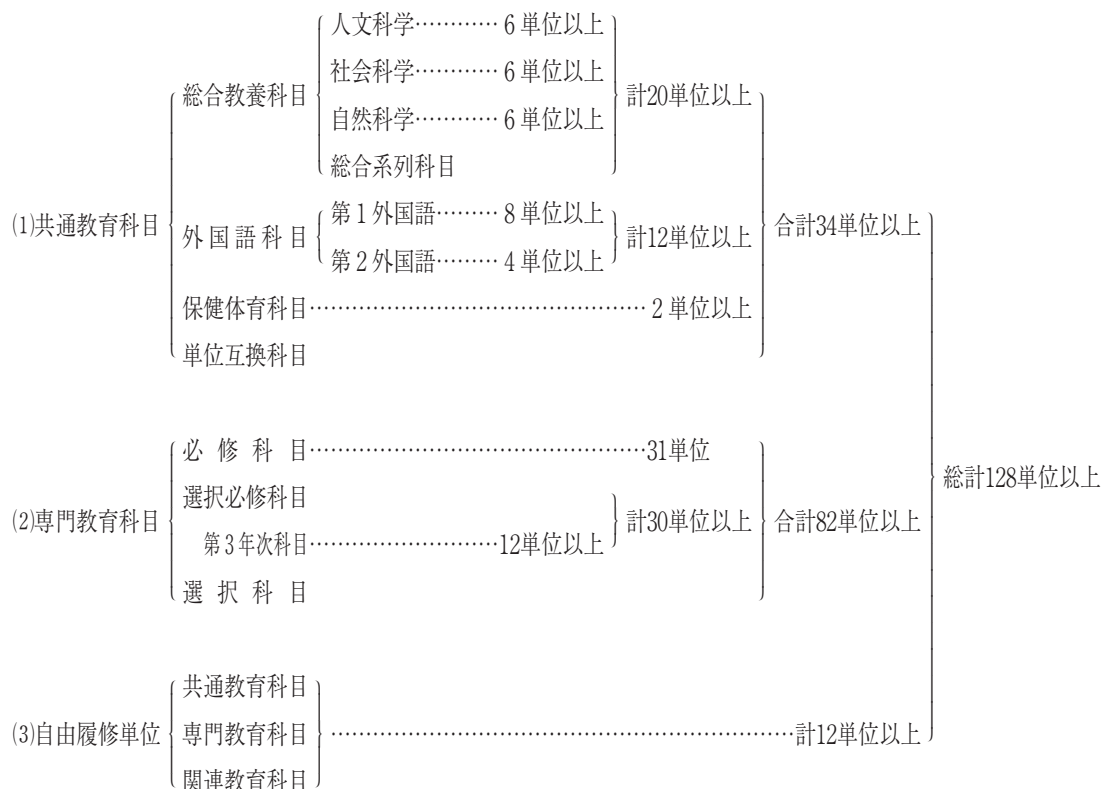
※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	社会科学	中国文学A	2	中国文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		中芸学A	2	中芸学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学A	2	商学B	2	経済学B	2	政治学A	2
	社会科学	地理学A	2	地理学B	2	社会学B	2	教育原論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
養科	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
総合系列科目	化学A	2							
	化学B	2							
	地学A	2							
	地学B	2							
	生物A	2							
	生物B	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1		
	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1		
保健体育科目	△	ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
	△	ドイツ語ⅠB	2	フランス語Ⅱ	2				
	△	フランス語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2				
	△	フランス語ⅠB	2	ロシア語Ⅱ	2				
	△	中国語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2				
	△	中国語ⅠB	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	△	ロシア語ⅠA	2						
	△	ロシア語ⅠB	2						
	△	スペイン語ⅠA	2						
	△	スペイン語ⅠB	2						
△	朝鮮語ⅠA	2							
△	朝鮮語ⅠB	2							
※	生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
※	生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分Ⅱ及び演習	3	基礎研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅰ	2
		基礎線形代数及び演習	3	微分積分Ⅲ	2	基礎研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅱ	2
		微分積分Ⅰ及び演習	3	社会数理のための数学実習Ⅲ	1				
		線形代数及び演習	3	プログラミングⅡ及び実習	3				
		情報入門Ⅰ	2						
	選択必修科目	社会数理のための数学実習Ⅰ	1	応用線形代数入門	2	意志決定の数理	2	システム分析特論	2
		社会数理のための数学実習Ⅱ	1	応用微分積分入門	2	リスク管理の数理	2	システム分析実習	1
		情報入門Ⅱ	2	微分方程式	2	システムプログラミング	4	データ解析特論	2
				確率	2	数理ファイナンス	4	データ解析実習	1
				数式処理実習	1	アルゴリズムとデータ構造	2	社会数理・情報特論	2
選択科目			データ処理実習	1	情報数理	2	情報数学特論	2	
			ネットワーク入門	2	数理統計	2	数理科学特論	2	
			数理モデルⅠ	2	多変量解析	2			
			数理モデルⅡ	2	ネットワークとセキュリティ	2			
			幾何学序論	2	離散数学	2			
関連教育科目			プログラミングⅠ及び実習	3	関数論Ⅰ	2			
			代数学序論	2	関数論Ⅱ	2			
		情報社会と倫理	2	集合と距離Ⅰ	2				
		情報実習	1	集合と距離Ⅱ	2				
		情報システム論Ⅰ	2	情報システム論Ⅱ	2				
		情報システム論Ⅱ	2	マルチメディア概論	2				
		教職のための数学演習	1	インターンシップ	2				
		簿記原理	4						
		ミクロ経済学	4						
		マクロ経済学	4						

(注) [] 内は今年度休講。

平成29年度入学生（17台）

【応用数学科】 社会数理・情報インスティテュートコース



- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として、卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 第 4 年次専門教育科目（選択必修科目又は選択科目）から 6 単位以上修得しなければならない。
 4 社会数理・情報インスティテュートコースの専門教育科目として開講されていない応用数学コースの 3 年次選択必修科目から12単位を限度として卒業に必要な専門教育科目82単位以上のなかに含めることができる。

平成29年度入学生 (17台)

理学部 応用数学科 社会数理・情報インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	中国文学A	2	中国文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		中芸学A	2	中芸学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
	第1年次	政治学A	2	法経学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学A	2
	第2年次	地理学A	2	社会学B	2	社会学B	2	教育原論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
第3年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
自然科学	物理学A	2	統計	2					
	物理学B	2							
総合系列科目	化学A	2							
	化学B	2							
外国語科目	地学A	2							
	地学B	2							
保健体育科目	生物A	2							
	生物B	2							
単位互換科目	地球環境学	2							
	生命・健康と医療	2							
第1	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
第2	文化と教育	2							
	現代を生きる	2							
外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1			
第2	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
	△ドイツ語IB	2							
第2	△フランス語IA	2	フランス語II	2					
	△フランス語IB	2							
第2	△中国語IA	2	中国語II	2					
	△中国語IB	2							
第2	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
	△ロシア語IB	2							
第2	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2					
	△スペイン語IB	2							
第2	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2					
	△朝鮮語IB	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
単位互換科目			生涯スポーツ論	2					
	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
必修科目	基礎微分積分及び演習	3	微分積分Ⅱ及び演習	3	基礎研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅰ	2	
	基礎線形代数及び演習	3	微分積分Ⅲ	2	基礎研究Ⅱ	2	卒業研究Ⅱ	2	
選択必修科目	微分積分Ⅰ及び演習	3	社会数理のための数学実習Ⅲ	1					
	線形代数及び演習	3	プログラミングⅡ及び実習	3					
選択科目	社会数理のための数学実習Ⅰ	1							
	社会数理のための数学実習Ⅱ	1							
専門教育科目	情報入門Ⅰ	2	応用線形代数入門	2	意志決定の数理	2	システム分析特論	2	
	情報入門Ⅱ	2	応用微分積分入門	2	リスク管理の数理	2	システム分析実習	1	
選択科目			微分方程式	2	システムプログラミング	4	データ解析特論	2	
			確率	2	数理ファイナンス	4	データ解析実習	1	
選択科目			数式処理実習	1	アルゴリズムとデータ構造	2	社会数理・情報特論	2	
			データ処理実習	1	情報数理	2	情報数学特論	2	
選択科目			ネットワーク入門	2	数理統計	2	数理科学特論	2	
			数理論理	2	多変量解析	2			
選択科目			数理モデルⅠ	2	ネットワークとセキュリティ	2			
			数理モデルⅡ	2					
選択科目			プログラミングⅠ及び実習	3	離散数学	2	応用数学特論	2	
			代数学序論	2	関数論Ⅰ	2			
選択科目			情報社会と倫理	2	関数論Ⅱ	2			
			情報実習	1	集合と距離Ⅰ	2			
選択科目					集合と距離Ⅱ	2			
					情報システム論Ⅰ	2			
選択科目					情報システム論Ⅱ	2			
					マルチメディア概論	2			
選択科目					教職のための数学演習	1			
					インターンシップ	2			
関連教育科目									
関連教育科目			ミクロ経済学	4	簿記原理	4			
			マクロ経済学	4					

(注) []内は今年度休講。

令和6年度入学生（24台）

【物理科学科】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	合計86単位以上	総計128単位以上
	学修基盤科目			
保健体育科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計22単位以上		
単位互換科目	第2外国語…………… 4 単位以上			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 34単位	計22単位以上	合計86単位以上	総計128単位以上
	必修実験科目…………… 10単位			
	選択必修科目…………… 20単位以上			
	選択科目			
	物理分野…………… 14単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計8単位以上	合計86単位以上	総計128単位以上
	専門教育科目			
	関連教育科目			

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和6年度入学生 (24台)

理学部 物理科学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
			倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
			西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
			アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	日本文学A	2	西洋文学B	2
	芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2		
	社会科学	法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
		商学A	2	経済学A	2	日経学B	2	商学A	2	
		社会学A	2	社会学B	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2	
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2	
	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
教育科目	自然科学	数学A	2	数学B	2					
	総合系科目	図形情報	2	統計	2					
	学修基盤科目	福岡大学で考える現代社会	2							
		福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか データサイエンス・AI入門	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1							
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2					
		△ドイツ語ⅠB	2							
		△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
		△フランス語ⅠB	2							
		△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2					
		△中国語ⅠB	2							
△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2							
△ロシア語ⅠB	2									
△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2							
△スペイン語ⅠB	2									
△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2							
△朝鮮語ⅠB	2									
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1						
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	物理数学入門Ⅰ	2	電磁気学Ⅰ	2	物理科学研究	2	卒業論文	4	
		物理数学入門Ⅱ	2	電磁気学Ⅱ	2					
		物理数学入門演習	2	熱統計力学入門	2					
		力学Ⅰ	2	熱統計力学・量子力学演習	2					
		力学Ⅱ	2							
	必修実験科目	基礎電磁気学	2	物理科学実験Ⅰ	4	物理科学実験Ⅱ	4			
		基礎電磁気学演習	2	物理数学	2	連続体力学	2			
		情報活用演習	2	振動波動論Ⅰ	2	量子力学Ⅱ	2			
				振動波動論Ⅱ	2	熱力学	2			
				解析力学	2	統計力学	2			
選択必修科目	物理分野			現代物理学入門	2	相対論	2	観測的宇宙物理学	2	
				電流と電気回路	2	物性物理学Ⅰ	2	物理学特別講義Ⅰ	2	
				電磁気学Ⅱ	2	物性物理学Ⅱ	2	物理学特別講義Ⅱ	2	
				情報処理概論	2	計算物理学	2			
				結晶物理学	2	コンピュータシミュレーション	2			
	理科分野			宇宙天体物理学	2	物性物理学Ⅰ	2	観測的宇宙物理学	2	
				エレクトロニクス	2	物性物理学Ⅱ	2	物理学特別講義Ⅰ	2	
				物理実験学	2	計算物理学	2	物理学特別講義Ⅱ	2	
				プログラミング	2	コンピュータシミュレーション	2			
情報分野			生物化学A	2	生物学実験	2	大気環境物理学	2		
			生物化学B	2	地球学実験	2				
			化学A	2	地球流体力学	2				
			化学B	2	地球物理学	2				
キャリア分野			情報社会と倫理	2	大気物理学	2				
					理科教育法Ⅰ	2				
					理科教育法Ⅱ	2				
関連教育科目					ソフトウェア工学	2	通信工学	2		
					ネットワーク入門	2	情報伝送工学	2		
					マルチメディア概論	2	情報システム論	2		
					AI活用基礎	2				
					情報数理計画法	2				
					発明と特許	2				
					神経生物学	2	行動生物学	2		
							地球環境進化学	2		
					他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目					

(注) [] 内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【物理科学科】 物理科学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}	合計34単位以上	
		第2外国語…………… 4 単位以上				
		保健体育科目…………… 2 単位以上				
	単位互換科目					
(2)専門教育科目	必修科目…………… 34単位	}	合計86単位以上	}	総計128単位以上	
	必修実験科目…………… 10単位					
	選択必修科目…………… 20単位以上					
	選択科目					計22単位以上
	物理分野…………… 14単位以上					
	このうち第4 年次科目から 2 単位以上					
(3)自由履修単位	共通教育科目	}	計 8 単位以上	}	総計128単位以上	
	専門教育科目					
	関連教育科目					

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和5年度入学生 (23台)

理学部 物理科学科 物理科学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																														
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																							
共通教育科目	総合教養	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	倫理学A 2	倫理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	日本文学A 2	日本文学B 2	西洋文学A 2	西洋文学B 2	芸術A 2	芸術B 2	日本教育史 2	西洋教育史 2												
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	商地学A 2	商地学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	法学A 2	法学B 2	経済学A 2	経済学B 2	社会学A 2	社会学B 2	心理学A 2	心理学B 2	政治学A 2	政治学B 2	商学A 2	商学B 2	教育の原理・課程論 2	教育の原理・課程論 2	心理学A 2	心理学B 2								
				第1年次		第2年次		第3年次		第4年次																						
				授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																					
		自然科学	数理学A 2	数理学B 2	図形情報 2	統計 2																										
	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2																														
	学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか データサイエンス・AI入門 2																														
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1	海外英語研修 2																					
		第2	△ドイツ語ⅠA 2	△ドイツ語ⅠB 2	△フランス語ⅠA 2	△フランス語ⅠB 2	△中国語ⅠA 2	△中国語ⅠB 2	△ロシア語ⅠA 2	△ロシア語ⅠB 2	△スペイン語ⅠA 2	△スペイン語ⅠB 2	△朝鮮語ⅠA 2	△朝鮮語ⅠB 2																		
			※生涯スポーツ演習Ⅰ 1		※生涯スポーツ演習Ⅱ 1		生涯スポーツ演習Ⅲ 1		生涯スポーツ演習Ⅳ 1		生涯スポーツ論 2																					
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目																																
単位互換科目																																
専門教育科目	必修科目	物理数学入門Ⅰ 2	物理数学入門Ⅱ 2	物理数学入門演習 2	力学Ⅰ 2	力学Ⅱ 2	力学演習Ⅰ 2	力学演習Ⅱ 2	基礎電磁気学 2	基礎電磁気学演習 2	情報活用演習 2	電磁気学Ⅰ 2	量子力学Ⅰ 2	熱統計力学入門 2	熱統計力学・量子力学演習 2	物理科学研究 2	卒業論文 4															
		必修実験科目	物理学実験 2																													
		選択必修科目			物理科学実験Ⅰ 4		物理科学実験Ⅱ 4																									
					物理数学 2		連続体力学 2		振動波動論Ⅰ 2		振動波動論Ⅱ 2		解析力学 2		現代物理学入門 2		電流と電気回路 2		電磁気学Ⅱ 2		情報処理概論 2		相対論 2		物性物理学Ⅰ 2		物性物理学Ⅱ 2		計算物理学 2		コンピュータシミュレーション 2	
			物理分野			結晶物理学 2		宇宙天体物理学 2		エレクトロニクス 2		物理実験学 2		プログラミング 2		生物学実験 2		地学実験 2		地球流体力学 2		理科教育法Ⅰ 2		理科教育法Ⅱ 2		観測的宇宙物理学 2		物理学特別講義Ⅰ 2		物理学特別講義Ⅱ 2		
	理科分野		化学A 2	化学B 2	地学A 2	地学B 2			情報社会と倫理 2		ソフトウェア工学 2		ネットワーク入門 2		マルチメディア概論 2		神経生物学 2		行動生物学 2		地球環境進化学 2											
	情報分野																															
	キャリア分野																															
	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目																															
	関連教育科目																															

(注) []内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【物理科学科】 物理科学コース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	合計86単位以上	総計128単位以上
	第2外国語…………… 4 単位以上			
保健体育科目…………… 2 単位以上	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 40 単位	計20単位以上	合計86単位以上	総計128単位以上
	必修実験科目…………… 10 単位			
	選択必修科目…………… 16 単位以上			
	選択科目 物理分野…………… 10 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計 8 単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和4年度入学生 (22台)

理学部 物理科学科 物理科学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理A	2	倫理B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	養育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
		自然科学	数図学A	2	数統計	2			
		総合系列科目	地球環境	2					
			生命・健康と医療	2					
			国際化と日本	2					
科学・技術・情報と社会	2								
文化と教育	2								
現代を生きる	2								
学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
	データサイエンス・AI入門	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修		2			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1						
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		△ドイツ語ⅠB	2						
		△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2				
		△フランス語ⅠB	2						
		△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2				
		△中国語ⅠB	2						
△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2						
△ロシア語ⅠB	2								
△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2						
△スペイン語ⅠB	2								
△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2						
△朝鮮語ⅠB	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	物理学基礎ゼミナール	2	力学Ⅱ	2	量子力学Ⅰ	2	卒業論文	4
		物理学入門Ⅰ	2	力学演習Ⅱ	2	熱力学・量子力学演習	2		
		物理学入門Ⅱ	2	基礎電磁気学Ⅱ	2	物理学研究Ⅰ	2		
		物理学入門演習	2	基礎電磁気学演習Ⅱ	2	物理学研究Ⅱ	2		
		力学Ⅰ	2	熱力学Ⅰ	2				
		力学演習Ⅰ	2						
		基礎電磁気学Ⅰ	2						
		基礎電磁気学演習Ⅰ	2						
		情報活用演習	2						
		物理学実験	2	物理学実験Ⅰ	4	物理学実験Ⅱ	4		
必修実験科目		物理学実験Ⅱ	4						
選択必修科目	物理分野	物理数学	2	電磁気学Ⅱ	2	統計力学Ⅱ	2		
		電磁気学Ⅰ	2	振動波動論Ⅱ	2				
		振動波動論Ⅰ	2	光学Ⅱ	2				
		解析力学	2	熱力学Ⅱ	2				
		現代物理学入門	2	連続体力学Ⅱ	2				
				統計力学Ⅰ	2				
				量子力学Ⅱ	2				
				相対論	2	物理情報計測特別講義	2		
				物性物理学Ⅰ	2	ナノ物理学特別講義	2		
				物性物理学Ⅱ	2	物性物理学特別講義	2		
		計算物理学	2	基礎物理学特別講義	2				
理科分野	化学A	2	生物学A	2	生物学実験	2	地球物理学	2	
	化学B	2	生物学B	2	地球物理学	2			
	化学A	2	化学実験	2	地球流体力学	2			
	化学B	2			理科教育法Ⅰ	2			
情報分野			プログラミング	2	ソフトウェア工学	2	通信工学	2	
			情報処理概論	2	情報システム論	2	情報伝送工学	2	
キャリア分野	情報社会と倫理	2	物理と社会	2	発明と特許	2			
関連教育科目					地球環境進化学	2	地球物質循環学	2	
					神経生物学	2	行動生物学	2	
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【物理科学科】 物理科学コース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目		
		学修基盤科目		
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	合計34単位以上
		第2外国語…………… 4 単位以上		
	保健体育科目…………… 2 単位以上			
	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 40 単位	計86単位以上	合計128単位以上	
	必修実験科目…………… 10 単位			
	選択必修科目…………… 16 単位以上			
	選択科目			
	物理分野…………… 10 単位以上			
		このうち第4 年次科目から 4 単位以上		
(3) 自由履修単位	共通教育科目			
	専門教育科目…………… 計 8 単位以上			
	関連教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

理学部 物理科学科 物理科学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	養	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	科目	政治学A	2	法経学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学A	2
	育	地理学A	2	社会学B	2	社会教育の原理・課程論	2	地理学A	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
保健体育科目	自然科学	数図形情報学A	2	数統計学B	2				
	総合系列科目	地球環境学	2						
単位互換科目	学修基盤科目	生命・健康と医療	2						
	国際化と日本	2							
専門教育科目	第1	科学・技術・情報と社会	2						
	文化・技術と教育	2							
必修科目	現代を生きる	2							
	学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2						
選択必修科目	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
物理分野	※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修	2					
	※フレッシュマン・イングリッシュIV	1							
理科分野	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
	△ドイツ語IB	2							
情報分野	△フランス語IA	2	フランス語II	2					
	△フランス語IB	2							
キャリア分野	△中国語IA	2	中国語II	2					
	△中国語IB	2							
関連教育科目	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
	△ロシア語IB	2							
他大学	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2					
	△スペイン語IB	2							
他大学	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2					
	△朝鮮語IB	2							
他大学	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
他大学			生涯スポーツ論	2					
他大学	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
	必修科目	物理学基礎ゼミナール	2	力学演習II	2	量子力学I	2	卒業論文	4
物理学入門I		2	力学演習II	2	熱力学・量子力学演習	2			
必修実験科目	物理学入門II	2	基礎電磁気学II	2	物理学研究I	2			
	物理学入門演習I	2	基礎電磁気学演習II	2	物理学研究II	2			
選択必修科目	力学演習I	2	熱力学I	2					
	基礎電磁気学I	2							
物理分野	基礎電磁気学演習I	2							
	情報活用演習	2							
理科分野	物理学実験	2	物理学実験I	4	物理学実験II	4			
			物理学数学	2	電磁気学II	2	統計力学II	2	
情報分野			電磁気学I	2	振動波動論II	2			
			振動波動論I	2	光力学	2			
キャリア分野			現代物理学入門	2	熱力学II	2			
					連続体力学	2			
他大学					統計力学I	2			
					量子力学II	2			
他大学			結晶物理学	2	相対論	2	物理情報計測特別講義	2	
			宇宙天体物理学	2	物性物理学I	2	ナノ物理学特別講義	2	
他大学			エレクトロニクス	2	物性物理学II	2	物性物理学特別講義	2	
			物理実験学	2	計算物理学	2	基礎物理学特別講義	2	
他大学					コンピュータシミュレーション	2			
他大学			生物学A	2	生物学実験	2	地球物理学	2	
			生物学B	2	地球学実験	2			
他大学			化学実験	2	地球流体力学	2			
					理科教育法I	2			
他大学					理科教育法II	2			
他大学			プログラミング	2	ソフトウェア工学	2	通信工学	2	
			情報処理概論	2	情報システム論	2	情報伝送工学	2	
他大学					計測・制御論	2			
					発明と特許	2			
他大学			物理と社会	2	地球環境進化学	2	地球物質循環学	2	
					神経生物学	2	行動生物学	2	

(注) []内は今年度休講。

平成30・29年度入学生（18・17台）

【物理科学科】 物理科学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
}	総合系列科目				
	学修基盤科目				
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}	
	第2 外国語…………… 4 単位以上				
	保健体育科目…………… 2 単位以上				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………40単位		合計86単位以上	}	総計128単位以上
	必修実験科目……………10単位				
	選択必修科目……………16単位以上				
	選択科目				
	物理分野……………10単位以上	計20単位以上			
	このうち第4 年次科目から 4 単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目		計 8 単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。

平成30・29年度入学生 (18・17台)

理学部 物理科学科 物理科学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	社会科学	中国文学A	2	中国文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	養	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	科目	自然科学	数学A	2	数学B	2			
		総合系列科目	図形情報	2	統計	2			
地球環境			2						
生命・健康と医療			2						
育	第1	国際化と日本	2						
		科学・技術・情報と社会	2						
外国語科目	第2	文化と教育	2						
		現代を生きる	2						
		学修基盤科目	2						
		※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1		
	保健体育科目	第2	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1	
			※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修	2			
			△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2			
			△ドイツ語IB	2					
			△フランス語IA	2	フランス語II	2			
			△フランス語IB	2					
単位互換科目	第2	△中国語IA	2	中国語II	2				
		△中国語IB	2						
専門教育科目	必修科目	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2				
		△ロシア語IB	2						
	必修実験科目	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2				
		△スペイン語IB	2						
	選択必修科目	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2				
		△朝鮮語IB	2						
	物理分野	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1				
		※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1				
	理科分野	生涯スポーツ論	2						
		物理学基礎ゼミナール	2	力学演習II	2	量子力学I	2		
情報分野	物理学入門I	2	基礎電磁気学II	2	熱力学・量子力学演習	2			
	物理学入門II	2	基礎電磁気学演習II	2	物理学研究I	2			
キャリア分野	物理学入門演習I	2	熱力学I	2	物理学研究II	2			
	力学演習I	2							
単位互換科目	基礎電磁気学I	2							
	基礎電磁気学演習I	2							
選	情報活用演習	2							
	物理学実験	2	物理学実験I	4	物理学実験II	4			
択	物理分野	物理学実験	2	物理学数学	2	電磁気学II	2		
		物理学実験	2	電磁気学I	2	振動波動論II	2		
目	理科分野	物理学実験	2	振動波動論I	2	光力学	2		
		物理学実験	2	解析力学	2	熱力学II	2		
情報分野	理科分野	物理学実験	2	現代物理学入門	2	連続体力学	2		
		物理学実験	2			統計力学I	2		
キャリア分野	情報分野	物理学実験	2	結晶物理学	2	統計力学II	2		
		物理学実験	2	宇宙天体物理学	2	量子力学II	2		
単位互換科目	情報分野	物理学実験	2	エレクトロニクス	2	物理情報計測特別講義	2		
		物理学実験	2	物理実験学	2	ナノ物理学特別講義	2		
単位互換科目	キャリア分野	物理学実験	2	物理実験学	2	物性物理学特別講義	2		
		物理学実験	2			基礎物理学特別講義	2		
単位互換科目	キャリア分野	物理学実験	2	プログラミング	2	物理情報計測特別講義	2		
		物理学実験	2	情報処理概論	2				
単位互換科目	キャリア分野	物理学実験	2	情報と社会	2	地球物理学	2		
		物理学実験	2						
単位互換科目	キャリア分野	物理学実験	2	地球環境進化学	2	地球物質循環学	2		
		物理学実験	2	神経生物学	2	行動生物学	2		
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目							

(注) []内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【物理科学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基礎科目				
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}			
	第2外国語…………… 4 単位以上					
	保健体育科目…………… 2 単位以上					
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 12 単位	計32単位以上 (このうち第4年次 科目から2単位以上)	}	合計90単位以上	}	総計128単位以上
	必修実験科目…………… 16 単位					
	選択必修実験科目…………… 4 単位以上					
	選択必修科目……………					
	選択科目…………… 14 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計 4 単位以上	}			
	専門教育科目					

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和5年度入学生 (23台)

理学部 物理科学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	総合科目	アジアの文化芸術A	2	アジアの文化芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2	
		政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2	
	自然科学	法政商地文A	2	法政商地文B	2	日経社会心	2	政治学A	2	
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	教育の原理・課程論	2	
	総合系列科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学修基盤科目	数学A	2	図形情報統計	2						
学修基盤科目	福岡大学で考える現代社会	2								
学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2								
学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	2								
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1			
	第2	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
		△ドイツ語IB	2							
		△フランス語IA	2	フランス語II	2					
		△フランス語IB	2							
		△中国語IA	2	中国語II	2					
		△中国語IB	2							
		△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
		△ロシア語IB	2							
保健体育科目	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2						
	△スペイン語IB	2								
単位互換科目	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2						
	△朝鮮語IB	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1						
保健体育科目			生涯スポーツ論	2						
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	ナノサイエンス入門	2			機能新素材科学	2	ナノ構造科学卒業論文	4	
								科学プレゼンテーション	2	
	必修実験科目	物理学実験	2	有機化学実験	2	物理科学実験II	4			
		化学実験	2	物理化学実験	2	ナノ材料科学実験II	2			
	選択必修実験科目			物理科学実験I	4					
				無機化学実験	2					
	選択必修科目	選択必修科目	化学A	2	物理化学B	2	ナノ科学応用実習	2	ナノサイエンス特別講義A	2
			化学B	2	無機化学A	2	物性物理学I	2	ナノサイエンス特別講義B	2
			物理化学A	2	無機化学B	2	物性物理学II	2	ナノサイエンス国際演習	2
			分析化学A	2	無機化学C	2	量子力学II	2		
物理化学入門I			2	無機化学D	2	物理化学C	2			
物理化学入門II			2	無機化学E	2	無機化学C	2			
力学I			2	有機化学A	2	無機化学D	2			
力学II			2	有機化学B	2	無機化学E	2			
基礎電磁気学			2	有機化学C	2	有機化学D	2			
基礎電磁気学演習			2	有機化学D	2	有機化学E	2			
物理化学入門演習	2	物理化学E	2	物理科学研究A	2					
物理分野	物理分野	力学演習I	2	物理化学	2	物理科学研究B	2			
		力学演習II	2	物理化学II	2					
		基礎電磁気学演習	2	物理化学III	2	光熱力学	2			
				物理化学IV	2	熱力学	2			
				振動波動論I	2	連続体力学	2			
				振動波動論II	2	統計物理学	2			
				解析力学	2	コンピュータシミュレーション	2			
				エレクトロニクス	2	統計力学	2			
				物理実験	2					
				電流と電気回路	2					
化学分野	化学分野	物理化学入門演習	2	熱統計力学・量子力学演習	2					
		有機化学B	2	物理化学A	2	物理化学D	2			
				生体化学B	2	物理化学C	2			
				生体化学A	2	物理化学B	2			
				量子化学	2	物理化学A	2			
				量子化学	2	物理化学B	2			
				量子化学	2	物理化学C	2			
				量子化学	2	物理化学D	2			
				量子化学	2	物理化学E	2			
				量子化学	2	物理化学F	2			
理科分野	理科分野	地学A	2	生物学A	2	生物学実験	2	地球流体力学	2	
		地学B	2	生物学B	2	理科教育法I	2	地球物理学	2	
				地学実験	2	理科教育法II	2	地球環境進化学	2	
				情報処理概論	2	情報工学	2	通信工学	2	
				プログラミング	2	ネットワーク入門	2	情報伝送工学	2	
						マルチメディア概論	2	情報システム論	2	
						発明と特許	2			
キャリア分野	キャリア分野	情報活用基礎	2	理学と社会	2					
				情報社会と倫理	2					

(注) [] 内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【物理科学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	総合系列科目		計12単位以上	合計34単位以上
	学修基礎科目			
		第1外国語…………… 8 単位以上		
		第2外国語…………… 4 単位以上		
	保健体育科目…………… 2 単位以上			
	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 12 単位		合計90単位以上	総計128単位以上
	必修実験科目…………… 16 単位			
	選択必修実験科目…………… 4 単位以上			
	選択必修科目…………… 計32単位以上			
	選択科目…………… 14 単位以上			
		(このうち第4年次 科目から2単位以上)		
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計4単位以上	
	専門教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和4年度入学生(22台)

理学部 物理科学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	社会科学	歴史学A	2	歴史学B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
		西アジアの文化学A	2	西アジアの文化学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	第1年次	政治学A	2	法経社会学A	2	日本国憲法B	2	政治学A	2	
		法政商地学A	2	法経社会学B	2	日経社会心理学A	2	政治学B	2	
	第2年次	文化人類学A	2	文化人類学B	2	教育史	2	西洋教育史	2	
		第3年次	第4年次	第3年次	第4年次	第3年次	第4年次	第3年次	第4年次	
	科目	自然科学	数学A	2	図形情報統計	2				
		総合系科目	地球環境	2						
生命・健康と医療			2							
国際化と日本			2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1						
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
専門教育	必修科目	ナノサイエンス入門	2			機能新素材科学	2	ナノ構造科学卒業論文	4	
		物理学実験	2	有機化学実験	2	物理科学実験Ⅱ	4	科学プレゼンテーション	2	
	選択必修実験科目			物理化学実験Ⅰ	4					
				無機化学実験	2					
	選択必修科目	化学A	2	物理化学B	2	ナノ科学応用実習Ⅰ	2	ナノサイエンス特別講義A	2	
		物理化学A	2	無機化学B	2	物性物理学Ⅱ	2	ナノサイエンス特別講義B	2	
		分子化学入門Ⅰ	2	熱力学Ⅰ	2	統計力学Ⅰ	2	ナノサイエンス国際演習	2	
		物理学入門Ⅱ	2	現代物理学入門Ⅱ	2	量子力学Ⅱ	2			
		物理学入門Ⅲ	2	基礎電磁気学Ⅱ	2	量子力学Ⅲ	2			
		基礎電磁気学Ⅰ	2	基礎電磁気学Ⅰ	2	無機化学Ⅲ	2			
ナノサイエンス基礎演習		2	結晶物理学A	2	有機化学Ⅲ	2				
			有機化学C	2	物理科学研究Ⅱ	2				
選択科目	物理分野	物理学入門演習Ⅱ	2	物理数学Ⅱ	2	電磁気学Ⅱ	2	統計力学Ⅱ	2	
		力学演習Ⅰ	2	基礎電磁気学演習Ⅱ	2	振動波動論Ⅱ	2			
		基礎電磁気学演習Ⅰ	2	振動波動論Ⅰ	2	熱力学Ⅱ	2			
	化学分野	有機化学B	2	生物化学A	2	物理化学D	2			
				生化学B	2	生物化学C	2			
				生化学A	2	機器分析化学B	2			
理科学分野	地学A	2	生物学A	2	生物化学E	2	地球流体力学	2		
	地学B	2	生化学B	2	機器分析化学C	2	地球物理学	2		
情報分野			情報処理概論	2	ソフトウェア工学	2	地球環境進化学	2		
			プログラミング	2	情報システム論	2	通信工学	2		
キャリア分野	情報社会と倫理	2	理学と社会	2	発明と特許	2				
	情報活用基礎	2	科学英語	2						

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【物理科学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上			
	自然科学…………… 4 単位以上				
外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	合計34単位以上		
	学修基礎科目				
保健体育科目…………… 2 単位以上	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上		合計34単位以上	
単位互換科目	第2外国語…………… 4 単位以上				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 12 単位	計32単位以上	合計90単位以上		総計128単位以上
	必修実験科目…………… 22 単位				
	選択必修科目			第1年次科目…………… 12 単位以上	
				第2年次科目…………… 8 単位以上	
				第3年次科目…………… 10 単位以上	
				第4年次科目…………… 2 単位以上	
選択科目…………… 14 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計4 単位以上	合計90単位以上	総計128単位以上	
	専門教育科目				

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

理学部 物理科学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通	総合教養科目	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	倫理史A 2	倫理史B 2	倫理史C 2
		社会科学	政治学A 2	法経社会学A 2	日本国憲法 2	政治学A 2	文化人類学A 2	政治学B 2	政治学C 2
科目	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
科目	総合系列科目	数学A 2	図形情報 2						
		地球環境 2	統計 2						
科目	外国語科目	ドイツ語ⅠA 2	ドイツ語Ⅱ 2						
		フランス語ⅠA 2	フランス語Ⅱ 2						
科目	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	生涯スポーツ演習Ⅲ 1						
		※生涯スポーツ演習Ⅱ 1	生涯スポーツ演習Ⅳ 1						
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目							
専門	必修科目	ナノサイエンス入門 2			機能新素材科学 2		ナノ構造科学 2		卒業論文 4
							科学プレゼンテーション 2		
科目	必修実験科目	化学実験 2	基礎有機化学実験 2	物理化学実験 2	物理科学実験Ⅱ 4				
			物理化学実験 2	ナノ材料科学実験Ⅰ 2	ナノ材料科学実験Ⅱ 2				
科目	選択必修科目	物理学A 2	物理化学B 2	ナノ科学応用実習 2			ナノサイエンス特別講義A 2		
		物理学B 2	無機分析化学B 2	物性物理学Ⅰ 2			ナノサイエンス特別講義B 2		
科目	物理分野	物理学入門Ⅰ 2	現代物理学入門Ⅰ 2	統計力学Ⅰ 2			ナノサイエンス国際演習 2		
		基礎電磁気学Ⅰ 2	基礎電磁気学Ⅱ 2	量子力学Ⅰ 2					
科目	化学分野	有機化学B 2	生物化学A 2	物理化学D 2					
			生化学B 2	物理化学C 2					
科目	理科学分野	地学A 2	地学B 2	物理化学E 2					
				物理化学F 2					
科目	キャリア分野	情報社会と倫理 2	理学と社会 2	発明と特許 2					
		情報活用基礎 2	科学英語 2						

(注) []内は今年度休講。

令和6年度入学生（24台）

【化学科】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………6単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学……………6単位以上			
		自然科学……………6単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語……………8単位以上	計12単位以上	}		
	第2外国語……………4単位以上				
	保健体育科目……………2単位以上				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………30単位	合計84単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目……………24単位以上				
	選択必修実験・実習科目……………18単位以上				
	選択科目……………12単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計10単位以上	}		
	専門教育科目				

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和6年度入学生 (24台)

理学部 化学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	社会科学	日本文学史A	2	日本文学史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	養育科目	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2	
		芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2	
		政治学A	2	法経学A	2	日本憲法	2	政治学A	2	
		商学B	2	社会学A	2	経済学B	2	商学A	2	
		地理学A	2	社会学B	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2	
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2	
科目	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	総合系列科目	数学A	2	統計	2					
		数学B	2							
		物理A	2							
	学修基礎科目	福岡大学で考える現代社会	2							
		福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
	外国語科目	第1	データサイエンス・AI入門	2						
			※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1		
			※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1		
※フレッシュマン・イングリッシュIII			1	海外英語研修	2					
第2		△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
		△ドイツ語IB	2							
		△フランス語IA	2	フランス語II	2					
		△フランス語IB	2							
		△中国語IA	2	中国語II	2					
		△中国語IB	2							
保健体育科目	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2						
	△ロシア語IB	2								
専門科目	必修科目	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2					
		△スペイン語IB	2							
	選択必修科目	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2					
		△朝鮮語IB	2							
	単位互換科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
		※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
	教育科目	必修科目	基礎化学演習	2	物理化学B	2	化学英語	2	卒業論文	4
			一般化学	2	生物化学A	2			化学特別研究	4
			分析化学A	2	量子化学A	2				
有機化学A			2	無機化学A	2					
選択必修科目		有機化学B	2							
		物理化学A	2	無機化学B	2	物理化学C	2			
		情報化学	2	機器分析化学A	2	量子化学C	2			
		化学数学A	2	有機化学C	2	放射化学	2			
		化学リテラシー	2	生物化学B	2	機器分析化学B	2			
			2	量子化学B	2	機器分析化学C	2			
選択科目	選択必修実習科目	生物化学	2	生物化学B	2	生物化学C	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学数B	2	無機化学C	2			
		一般化学実験	2	無機化学実験	2	有機化学実験	2			
		化学コミュニケーション	2	量子化学実験	2	物理化学実験	2			
	選択科目	生物化学実験	2	生物化学実験	2	放射化学実験	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学プロジェクト研究	2	化学研究A	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学プロジェクト研究	2	化学研究B	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学プロジェクト研究	2	化学研究B	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学プロジェクト研究	2	化学研究B	2			
		化学プロジェクト研究	2	化学プロジェクト研究	2	化学研究B	2			

(注) []内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【化学科】 化学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………6単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学……………6単位以上			
		自然科学……………6単位以上			
外国語科目	}	総合系列科目	計12単位以上	}	
		学修基盤科目			
		第1外国語……………8単位以上			
保健体育科目	}	第2外国語……………4単位以上	計12単位以上	}	
		単位互換科目			
(2)専門教育科目	}	必修科目……………30単位	合計84単位以上	}	総計128単位以上
		選択必修科目……………24単位以上			
		選択必修実験・実習科目……………18単位以上			
		選択科目……………12単位以上			
(3)自由履修単位	{	共通教育科目	計10単位以上	}	
	専門教育科目				

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和5年度入学生 (23台)

理学部 化学科 化学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
	社会科学	芸術A	2	芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		法学A	2	法学B	2	本國憲法	2	政治学A	2
		政治学B	2	経済学A	2	経済学B	2	商学A	2
		商学B	2	社会学A	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2
		地理学A	2	社会学B	2	社会心理学A	2	心理学B	2
教育科目	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	数学A	2	統計	2					
	数学B	2							
	物理学A	2							
	物理学B	2							
	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会	2						
	学修基礎科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2						
		データサイエンス・AI入門	2						
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	
※フレッシュマン・イングリッシュII			1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1		
※フレッシュマン・イングリッシュIII			1	海外英語研修	2				
※フレッシュマン・イングリッシュIV			1						
第2		△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2				
		△ドイツ語IB	2						
		△フランス語IA	2	フランス語II	2				
		△フランス語IB	2						
		△中国語IA	2	中国語II	2				
		△中国語IB	2						
	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
	△ロシア語IB	2							
△スペイン語IA	2	スペイン語II	2						
△スペイン語IB	2								
△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2						
△朝鮮語IB	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	基礎化学演習	2	物理化学B	2	化学英語	2	卒業論文	4
		一般化学	2	生物化学A	2			化学特別研究	4
		分析化学A	2	量子化学A	2				
		有機化学A	2	無機化学A	2				
		有機化学B	2						
	選択必修科目	情報化学	2	無機化学B	2	物理化学C	2		
		化学数学A	2	機器分析化学A	2	量子化学C	2		
		化学リテラシー	2	有機化学C	2	放射化学	2		
				生物化学B	2	機器分析化学B	2		
				量子化学B	2	機器分析化学C	2		
選択必修実験・実習科目	一般化学実験	2	無機化学実験	2	有機化学実験	2			
	化学コミュニケーション	2	量子化学実験	2	物理化学実験	2			
			生物化学実験	2	放射化学実験	2			
			化学プロジェクト研究	2	化学研究A	2			
					化学研究B	2			
選択科目	地学	地学A	2	現代物理学入門	2	無機化学D	2	化学国際演習	2
		地学B	2	力学I	2	物理化学D	2	地球物質循環学	2
			生物学A	2	有機化学D	2	行動生物学	2	
			生物学B	2	環境化学	2	化学特別講義A	2	
			物理学実験	2	地球環境進化学	2	化学特別講義B	2	
			地学実験	2	神経生物学	2			
					理学教育法I	2			
					理学教育法II	2			
					環境経済学	2			
					環境特許	2			

(注) []内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【化学科】 化学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学……………6単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学……………6単位以上			
		自然科学……………6単位以上			
}	総合系列科目	計12単位以上	}	}	}
	学修基盤科目				
	外国語科目				
		第1外国語……………8単位以上			
		第2外国語……………4単位以上			
		保健体育科目……………2単位以上			
		単位互換科目			
(2)専門教育科目	}	必修科目……………30単位	合計84単位以上	}	総計128単位以上
		選択必修科目……………24単位以上			
		選択必修実験・実習科目……………18単位以上			
		選択科目……………12単位以上			
(3)自由履修単位	}	共通教育科目	計10単位以上	}	}
		専門教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和4年度入学生(22台)

理学部 化学科 化学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	アジアの文学A	2	アジアの文学B	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
	第1年次	政治学A	2	経済学A	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		社会学B	2	社会学A	2	経済学B	2	社会学A	2
	第2年次	商地学B	2	社会学B	2	社会学B	2	教育の原理・課程論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
第3年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
自然科学	数学A	2	統計	2					
	数学B	2							
総合系列科目	物理学A	2							
	物理学B	2							
学修基盤科目	地球環境	2							
	生命・健康と医療	2							
外国語科目	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
保健体育科目	文化と教育	2							
	現代を生きる	2							
第1	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
	データサイエンス・AI入門	2							
第2	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1			
単位互換科目	海外英語研修	2							
	△ドイツ語IA	2	ドイツ語II	2					
外国語科目	△ドイツ語IB	2							
	△フランス語IA	2	フランス語II	2					
第2	△フランス語IB	2							
	△中国語IA	2	中国語II	2					
保健体育科目	△中国語IB	2							
	△ロシア語IA	2	ロシア語II	2					
単位互換科目	△ロシア語IB	2							
	△スペイン語IA	2	スペイン語II	2					
第2	△スペイン語IB	2							
	△朝鮮語IA	2	朝鮮語II	2					
保健体育科目	△朝鮮語IB	2							
	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
単位互換科目	※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1					
			生涯スポーツ論	2					
必修科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
	基礎化学演習	2	物理化学B	2	化学英語	2	卒業論文	4	
選択必修科目	一般化学	2	物理化学A	2			化学特別研究	4	
	分析化学A	2	量子化学A	2					
選択必修科目	有機化学A	2	無機化学A	2					
	有機化学B	2	有機化学C	2					
選択必修科目	物理解化学A	2	無機化学B	2	物理化学C	2			
	物理解化学B	2	有機化学B	2	量子化学C	2			
選択必修科目	物理解化学C	2	生物化学B	2	放射化学	2			
	物理解化学D	2	化学数B	2	放射化学B	2			
選択必修科目	化学リテラシー	2			放射化学C	2			
					放射化学D	2			
選択必修科目	一般化学実験	2	無機化学実験	2	有機化学実験	2			
	化学コミュニケーション	2	量子化学実験	2	物理化学実験	2			
選択必修科目			生物化学実験	2	放射化学実験	2			
			化学プロジェクト研究	2	化学研究A	2			
選択必修科目					化学研究B	2			
選択必修科目	地学A	2	現代物理学入門	2	無機化学D	2	化学国際演習	2	
	地学B	2	力物理学I	2	物理化学D	2	地球物質循環学	2	
選択必修科目			生物学A	2	有機化学D	2	行動生物学	2	
			生物学B	2	環境化学	2	化学特別講義A	2	
選択必修科目			物理学実験	2	地球環境進化学	2	化学特別講義B	2	
			地学実験	2	神経生物学	2			
選択必修科目					生物学実験	2			
					理科教育法I	2			
選択必修科目					理科教育法II	2			
					環境経済学	2			
選択必修科目					環境学	2			
					環境と特許	2			

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【化学科】 化学コース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上				
		社会科学…………… 6 単位以上							
		自然科学…………… 6 単位以上							
外国語科目	}	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}					
		第2外国語…………… 4 単位以上							
		保健体育科目…………… 2 単位以上							
	単位互換科目								
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 26 単位	}	合計86単位以上	}	総計128単位以上				
	選択必修科目…………… 16 単位以上								
	選択必修実験科目…………… 14 単位以上								
	系別必修科目 (選択系) …… 6 単位								
	系別選択科目					選択系…………… 8 単位以上	計14単位以上	}	計24単位以上
						非選択系…………… 6 単位以上			
選択科目									
(3) 自由履修単位	共通教育科目	}	計 8 単位以上	}					
	専門教育科目								

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 学生は、第 3 年次開講科目の登録時に一つの系を選択し、これを選択系とする。
 4 系別選択科目の非選択系 (6 単位以上) には非選択系の系別必修科目を含むことができる。

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西アジアの文化	2	西アジアの文化	2	本邦文芸史A	2	本邦文芸史B	2
	第1年次	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2
		政治学A	2	経済学A	2	日本憲法	2	政治学A	2
	第2年次	社会学A	2	社会学B	2	日経心	2	政治学B	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	社会心理学	2	教育の原理・課程論	2
	第3年次	文化人類学A	2	文化人類学B	2	社会心理学	2	教育の原理・課程論	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	社会心理学	2	教育の原理・課程論	2
自然科学	数学A	2	統計	2					
	物理学A	2							
総合系科目	地球環境学	2							
	生命健康と医療	2							
外国語科目	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
保健体育科目	文化を生きる	2							
	学修基盤科目	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2						
単位互換科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1			
第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2					
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1							
第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2					
	△ドイツ語ⅠB	2							
第2	△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2					
	△フランス語ⅠB	2							
第2	△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2					
	△中国語ⅠB	2							
第2	△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
	△ロシア語ⅠB	2							
第2	△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2					
	△スペイン語ⅠB	2							
第2	△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2					
	△朝鮮語ⅠB	2							
第2	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目			生涯スポーツ論	2					
			他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目						
必修科目	基礎化学演習	2	物理化学B	2	外書講読	2	卒業論文	4	
	一般無機分析化学A	2	物理化学A	2			化学特別研究	2	
選択必修科目	有機無機化学A	2	物理化学C	2					
	有機無機化学B	2	放射化学	2					
選択必修科目	有機無機化学C	2	放射化学実験	2					
	有機無機化学D	2							
物質化学系	物質機能化学A	2	物質機能化学実験	2					
	物質機能化学B	2					物質化学特別講義	2	
生命化学系	物質機能化学C	2							
	物質機能化学D	2							
選択科目	環境分析化学	2							
	物理化学D	2							
選択科目	生物化学実験	2							
	有機生物化学	2					生命化学特別講義	2	
選択科目	生物物理化学	2							
	生物材料合成化学	2							
選択科目	有機材料化学	2							
	有機材料化学	2							
選択科目	現代物理学入門	2	地球環境進化学	2			化学国際演習	2	
	力生生物学A	2	地球環境進化学	2			地球物質循環学	2	
選択科目	生生物学B	2	地球環境進化学	2					
	生理化学実験	2							
選択科目			地球環境進化学	2					

(注) [] 内は今年度休講。

平成30年度入学生（18台）

【化学科】 化学コース

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上				
		社会科学…………… 6 単位以上							
		自然科学…………… 6 単位以上							
外国語科目	}	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}					
		第2外国語…………… 4 単位以上							
		保健体育科目…………… 2 単位以上							
	単位互換科目								
(2)専門教育科目	必修科目……………26単位	}	合計86単位以上	}	総計128単位以上				
	選択必修科目……………16単位以上								
	選択必修実験科目……………14単位以上								
	系別必修科目（選択系）…………… 6 単位								
	系別選択科目					選択系………… 8 単位以上	計14単位以上	}	計24単位以上
						非選択系… 6 単位以上			
選択科目									
(3)自由履修単位	}	共通教育科目	計 8 単位以上	}					
		専門教育科目							

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。
 3 学生は、第 3 年次開講科目の登録時に一つの系を選択し、これを選択系とする。
 4 系別選択科目の非選択系（6 単位以上）には非選択系の系別必修科目を含むことができる。

平成30年度入学生 (18台)

理学部 化学科 化学コース

※印は必修
△印は選択必修

		第 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 年次											
		授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位				
共 通 教 育	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西国文学A 2 西国文学A 2 芸文術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西国文学B 2 西国文学B 2 芸文術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 日本文学A 2 西国文学A 2 日本教育史A 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 日本文学B 2 西国文学B 2 西洋教育史A 2	政治学A 2 政治学B 2 政治学B 2 文化人類学A 2	経済学A 2 社会学A 2 社会学B 2 文化人類学B 2	法政商学A 2 政治学A 2 政治学B 2 文化人類学A 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 文化人類学B 2	政治学A 2 政治学A 2 政治学A 2 政治学B 2		
		社会科学	政治学A 2 政治学B 2 政治学B 2 文化人類学A 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 文化人類学B 2	政治学A 2 政治学B 2 政治学B 2 政治学A 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2	政治学A 2 政治学A 2 政治学A 2 政治学B 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2	政治学A 2 政治学A 2 政治学A 2 政治学B 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2	政治学A 2 政治学A 2 政治学A 2 政治学B 2	政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2 政治学B 2	
	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目			
		単位		単位		単位		単位		単位			
		2		2		2		2		2			
	総合系科目	数学A 2 数学B 2 物理学A 2 物理学B 2	統計 2										
		地球環境学A 2 生命健康と医療学A 2 国際化と日本学A 2 科学技術情報と社会学A 2 文化と教育学A 2 現代を生きる学A 2											
	外 国 語 科 目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1		※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1							
			海外英語研修 2										
第2			△ドイツ語ⅠA 2 △ドイツ語ⅠB 2 △フランス語ⅠA 2 △フランス語ⅠB 2 △中国語ⅠA 2 △中国語ⅠB 2 △ロシア語ⅠA 2 △ロシア語ⅠB 2 △スペイン語ⅠA 2 △スペイン語ⅠB 2 △朝鮮語ⅠA 2 △朝鮮語ⅠB 2	ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 スペイン語Ⅱ 2 朝鮮語Ⅱ 2									
			保健体育科目		生涯スポーツ演習Ⅲ 1 生涯スポーツ演習Ⅳ 1 生涯スポーツ論 2								
		単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目									
		必修科目	基礎化学演習学A 2 一般化学A 2 無機分析化学A 2 有機化学B 2 物理化学A 2	物理化学学B 2 物理化学学A 2 量子化学A 2	外書講読 2		卒業論文 4 化学特別研究 2						
			情報化学A 2 化学数A 2	無機分析化学B 2 無機化学概論 2 有機分析化学C 2 有機化学B 2 有機化学B 2 有機化学B 2	物理化学C 2 放射化学 2								
		選択必修実験科目	一般化学実験 2 無機分析化学実験 4	基礎有機化学実験 2 基礎物理化学実験 2 基礎生物化学実験 2 基礎量子化学実験 2		放射化学実験 2							
物質化学系		必修科目				物質機能化学A 2 物質機能化学実験 2 構造物理化学実験 2							
		選択科目				物質機能化学B 2 物質機能化学C 2 環境分析化学 2 物理化学D 2 生物化学C 2 機能生物化学実験 2 有機生物化学実験 2		物質化学特別講義 2					
	必修科目				生物物理化学学D 2 生物材料合成化学 2 有機化学 2 有機化学 2								
	選択科目				生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2 生命化学特別講義 2		生命化学特別講義 2						
選択科目	地学A 2 地学B 2	現代物理学入門学Ⅰ 2 力物理学A 2 生物学学B 2 生理学学B 2 物理学実験 2	地球環境進化化学 2 地神経生物学実験 2 生理科教育法Ⅱ 2 理経環境 2 環境と特 2		化学国際演習学 2 地球物質循環学 2 行動生物学 2								

(注) [] 内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

【化学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 6 単位以上			
外国語科目	総合系列科目		計12単位以上	合計34単位以上
	学修基礎科目			
	第1外国語…………… 8 単位以上			
		第2外国語…………… 4 単位以上		
	保健体育科目…………… 2 単位以上			
	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 12 単位		計32単位以上 (このうち第4年次 科目から2単位以上)	合計90単位以上
	必修実験科目…………… 20 単位			
	選択必修科目……………			
	選択科目…………… 14 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計 4 単位以上	総計128単位以上
	専門教育科目			

(注) 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和5年度入学生 (23台)

理学部 化学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	総合科目	アジアの文化芸術A	2	アジアの文化芸術B	2	日本教育史	2	西洋教育史	2
		政治学A	2	法経学A	2	日本文学	2	政治学A	2
	養育科目	政治学B	2	社会学A	2	国憲法	2	政治学B	2
		商学B	2	社会学B	2	社会心理学	2	教育の原理・課程論	2
	自然科学	文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
総合科目	数理学A	2	統計	2					
	数理学B	2							
総合科目	物理学A	2							
	物理学B	2							
総合科目	福岡大学で考える現代社会	2							
	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
総合科目	学修基盤科目	2							
	データサイエンス・A1入門	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	海外英語研修	2				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1						
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		△ドイツ語ⅠB	2						
		△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2				
		△フランス語ⅠB	2						
		△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2				
		△中国語ⅠB	2						
保健体育科目	△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2					
	△ロシア語ⅠB	2							
単位互換科目	△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2					
	△スペイン語ⅠB	2							
単位互換科目	△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2					
	△朝鮮語ⅠB	2							
単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	生涯スポーツ論	2							
	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	ナノサイエンス入門	2			機能新素材科学	2	ナノ構造科学卒業論文 科学プレゼンテーション	4 2
		物理学実験 一般化学実験	2 2	有機化学実験 物理化学実験 無機化学実験 生物化学実験 ナノ材料科学実験Ⅰ	2 2 2 2 2	物理科学実験Ⅱ ナノ材料科学実験Ⅱ	4 2		
	選択必修科目	一般化学	2	物理化学B	2	ナノ科学応用実習	2	ナノサイエンス特別講義A	2
		物理化学A	2	無機化学A	2	物性物理学Ⅰ	2	ナノサイエンス特別講義B	2
		分析化学A	2	無機化学B	2	物性物理学Ⅱ	2	ナノサイエンス国際演習	2
		有機化学A	2	無機統計学入門	2	量子力学Ⅱ	2		
		物理数学入門Ⅰ	2	量子力学Ⅰ	2	物理化学C	2		
		物理数学入門Ⅱ	2	現代物理学入門	2	物理化学D	2		
		物理数学入門演習Ⅰ	2	電磁気学Ⅰ	2	無機化学D	2		
		物理化学Ⅰ	2	結晶物理学	2	有機化学D	2		
基礎電磁気学	2	有機物分析化学A	2	物理科学研究A	2				
選択科目	物理分野	力学演習Ⅰ	2	物理数学	2	物理化学研究B	2		
		力学演習Ⅱ	2	振動波動論Ⅰ	2	光熱力学	2		
	基礎電磁気学演習	2	振動波動論Ⅱ	2	連続体力学	2			
			電磁気学Ⅱ	2	統計物理学	2			
			電流と電気回路	2	コンピュータシミュレーション	2			
			解析力学	2	統計力学	2			
			エレクトロニクス	2					
			物理実験学	2					
			熱統計学・量子力学演習	2					
	化学分野	情報化学	2	生物化学A	2	物理化学D	2		
有機化学B		2	生物化学B	2	生物化学C	2			
自然分野			生体化学A	2	機器分析化学B	2			
			生体化学B	2	機器分析化学C	2			
キヤリア分野	地学A	2	量子化学	2	分子化学	2			
	地学B	2	環境化学	2	環境化学	2			
キヤリア分野			生物学A	2	生物学実験	2	地球流体力学	2	
			生物学B	2			地球物理学	2	
キヤリア分野			理学と社会	2			地球環境進化学	2	
			理科学英語論	2					
キヤリア分野			情報処理概論	2					
			プログラミング	2					

(注) [] 内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【化学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上			
		自然科学…………… 6 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	}	合計34単位以上
		学修基礎科目			
		第1外国語…………… 8 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第2外国語…………… 4 単位以上	計12単位以上	}	合計34単位以上
		保健体育科目…………… 2 単位以上			
(2) 専門教育科目	単位互換科目		計32単位以上	}	合計90単位以上
		必修科目…………… 12 単位			
		必修実験科目…………… 20 単位			
		選択必修科目…………… 計32単位以上			
		選択科目…………… 14 単位以上			
(3) 自由履修単位	}	共通教育科目	計 4 単位以上	}	総計128単位以上
		専門教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和4年度入学生(22台)

理学部 化学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		日本史A	2	日本史B	2	西洋史A	2	西洋史B	2
		西アジアの文化	2	西アジアの文化	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	社会科学	芸術学A	2	芸術学B	2	本邦教育史	2	西洋教育史	2
		政治学A	2	政治学B	2	憲法	2	政治学A	2
		商学A	2	商学B	2	経済学	2	政治学B	2
		文化人類学A	2	文化人類学B	2	社会心理学	2	教育の原理・課程論	2
	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		数学A	2	統計	2				
		物理学A	2						
		物理学B	2						
総合系科目	地球環境	2							
	生命・健康と医療	2							
	国際化と日本	2							
	科学・技術・情報と社会	2							
学修基盤科目	文化と教育	2							
	現代を生きる	2							
	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2							
	データサイエンス・A1入門	2							
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	海外英語研修	2				
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1						
	第2	△ドイツ語I A	2	ドイツ語II	2				
		△ドイツ語I B	2						
		△フランス語I A	2	フランス語II	2				
		△フランス語I B	2						
		△中国語I A	2	中国語II	2				
		△中国語I B	2						
		△ロシア語I A	2	ロシア語II	2				
		△ロシア語I B	2						
△スペイン語I A	2	スペイン語II	2						
△スペイン語I B	2								
△朝鮮語I A	2	朝鮮語II	2						
△朝鮮語I B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習III	1					
※生涯スポーツ演習II	1	生涯スポーツ演習IV	1						
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	ナノサイエンス入門	2			機能新素材科学	2	ナノ構造科学	2
								卒業論文	4
	必修実験科目	物理学実験	2	有機化学実験	2	物理科学実験II	4	科学プレゼンテーション	2
		一般化学実験	2	無機化学実験	2	ナノ材料科学実験II	2		
	選択必修科目	一般化学A	2	物理化学B	2	ナノ科学応用実習	2	ナノサイエンス特別講義A	2
		物理化学A	2	無機化学B	2	物性物理学I	2	ナノサイエンス特別講義B	2
		分析化学A	2	熱力学I	2	物性物理学II	2	ナノサイエンス国際演習	2
		有機化学A	2	現代物理学入門	2	統計力学I	2		
		物理学入門I	2	基礎電磁気学II	2	量子力学II	2		
		物理学入門II	2	基礎電磁気学I	2	物理化学C	2		
		物理力学	2	結晶物理学A	2	物理化学D	2		
		基礎電磁気学I	2	有機化学C	2	物理科学研究II	2		
ナノサイエンス基礎演習		2	有機化学D	2	物理科学研究A	2			
			有機化学E	2	物理科学研究B	2			
				物理科学研究C	2				
選択科目	物理分野	物理学入門演習	2	物理数学	2	電磁気学II	2	統計力学II	2
		力学演習I	2	力学演習II	2	振動波動論II	2		
		基礎電磁気学演習I	2	基礎電磁気学演習II	2	熱力学II	2		
	化学分野	情報化学	2	生物化学A	2	連続体力学II	2		
				生物化学B	2	熱力学・量子力学演習	2		
				生物化学C	2	計算物理学	2		
自然分野	地学A	2	生物物理学A	2	物理化学D	2			
	地学B	2	生物物理学B	2	生物化学C	2			
			生物物理学C	2	機器分析化学B	2			
キョリアおよび			理学と社会	2	機器分析化学C	2			
			情報処理概論	2	環境化学	2			
			プログラミング	2	生物学実験	2	地球流体力学	2	
				2			地球物理学	2	
				2			地球環境進化	2	
				2					
				2					
				2					

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【化学科】 ナノサイエンス・インスティテュートコース

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	合計34単位以上
		社会科学…………… 6 単位以上		
	自然科学…………… 6 単位以上	総合系列科目	学修基礎科目	
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	合計90単位以上	総計128単位以上
	第2外国語…………… 4 単位以上			
保健体育科目…………… 2 単位以上	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 12 単位	計32単位以上	合計90単位以上	総計128単位以上
	必修実験科目…………… 22 単位			
	第1年次科目…………… 12 単位以上	計32単位以上		
	第2年次科目…………… 8 単位以上			
	第3年次科目…………… 10 単位以上			
第4年次科目…………… 2 単位以上				
選択科目…………… 14 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計4 単位以上		
	専門教育科目			

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目 4 単位のうちの 2 単位を限度として卒業要件 128単位のなかに算入する。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

理学部 化学科 ナノサイエンス・インスティテュートコース

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	社会科学	歴史学A	2	歴史学B	2	東洋学A	2	東洋学B	2
		西アジアの文学A	2	西アジアの文学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2
	養育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
		自然科学	数学A 2 数学B 2 物理学A 2 物理学B 2	統計 2					
		総合系科目	地球環境 2 生命・健康と医療 2 国際化と日本 2 科学・技術・情報と社会 2 文化と教育 2 現代を生きる 2						
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1	
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1	
第2		△ドイツ語ⅠA	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		△ドイツ語ⅠB	2						
		△フランス語ⅠA	2	フランス語Ⅱ	2				
		△フランス語ⅠB	2						
		△中国語ⅠA	2	中国語Ⅱ	2				
		△中国語ⅠB	2						
		△ロシア語ⅠA	2	ロシア語Ⅱ	2				
		△ロシア語ⅠB	2						
△スペイン語ⅠA	2	スペイン語Ⅱ	2						
△スペイン語ⅠB	2								
△朝鮮語ⅠA	2	朝鮮語Ⅱ	2						
△朝鮮語ⅠB	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅲ	1					
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1	生涯スポーツ演習Ⅳ	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育	必修科目	ナノサイエンス入門	2			機能新素材科学	2	ナノ構造科学	2
								卒業論文	4
	必修実験科目	一般化学実験	2	基礎有機化学実験	2	物理科学実験Ⅱ	4	科学プレゼンテーション	2
		無機分析化学実験	4	基礎物理化学実験	2	ナノ材料科学実験Ⅱ	2		
	選択必修科目	一般化学A	2	物理化学B	2	ナノ科学応用実習Ⅰ	2	ナノサイエンス特別講義A	2
		無機化学A	2	無機分析化学Ⅰ	2	物性物理学Ⅰ	2	ナノサイエンス特別講義B	2
		有機化学A	2	現代物理学入門	2	物性物理学Ⅱ	2	ナノサイエンス国際演習	2
		物理学入門Ⅰ	2	力学Ⅰ	2	統計力学Ⅰ	2		
		物理学入門Ⅱ	2	基礎電磁気学Ⅱ	2	量子力学Ⅰ	2		
		物理学Ⅰ	2	基礎電磁気学Ⅰ	2	量子力学Ⅱ	2		
基礎電磁気学Ⅰ		2	結晶物理学	2	物理化学Ⅰ	2			
ナノサイエンス基礎演習		2	有機分析化学	2	物理化学Ⅱ	2			
		有機化学C	2	物質機能化学A	2				
				物質機能化学B	2				
				物質機能化学C	2				
				有機材料合成化学	2				
選択科目	物理分野	物理学入門演習	2	物理数学	2	電磁気学Ⅱ	2	統計力学Ⅱ	2
		力学演習Ⅰ	2	力学演習Ⅱ	2	振動波動論Ⅱ	2		
	基礎電磁気学演習Ⅰ	2	基礎電磁気学演習Ⅱ	2	振動波動論Ⅰ	2			
			振動波動論Ⅱ	2	熱力学Ⅱ	2			
			振動波動論Ⅲ	2	熱力学Ⅰ	2			
			磁気学Ⅰ	2	連続体力学	2			
			解析力学	2	熱力学・量子力学演習	2			
			エレクトロニクス	2	物理学研究Ⅱ	2			
			物理実験	2	計測物理学	2			
					コンピュータシミュレーション	2			
化学分野	情報化学	2	生物化学A	2	物理化学D	2			
	有機化学	2	生物化学B	2	生物化学C	2			
			生体化学A	2	生物化学D	2			
			生体化学B	2	生体有機化学	2			
				環境分析化学C	2				
				環境分析化学D	2				
				環境物理化学	2				
				環境有機化学	2				
				環境物理化学	2				
				環境有機化学	2				
自然分野	地学A	2	生体物理学A	2	生物物理学	2	地球流体力学	2	
	地学B	2	生体物理学B	2			地球物理学	2	
			地学実習	2			地球環境進化学	2	
			理学と社会	2					
キャリア分野			情報処理概論	2	理科教育法Ⅰ	2			
			情報処理概論	2	理科教育法Ⅱ	2			
			プログラミング	2	理教特許	2			

(注) []内は今年度休講。

令和6・5年度入学生（24・23台）

【地球圏科学科】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基盤科目				
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}			
	第2外国語…………… 4 単位以上					
	保健体育科目…………… 2 単位以上					
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計84単位以上	}	}	総計128単位以上	
	選択必修科目					8 単位以上
	A 群					
	B 群					
C 群						
	選択科目…………… 60 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計10単位以上	}			
	専門教育科目					

- (注) 1 選択必修科目については、A・B・C群のうちのいずれかの科目群の8単位すべてを修得しなければならない。
- 2 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和6・5年度入学生 (24・23台)

理学部 地球圏科学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 アジアの文学A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 アジアの文学B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋史A 2 日本文学A 2 西洋文学A 2 日本教育史 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋史B 2 日本文学B 2 西洋文学B 2 西洋教育史 2	政治学A 2 商学A 2 教育の原理・課程論 2 心理学B 2	政治学B 2 宗教学B 2 東洋史B 2 日本文学B 2 西洋文学B 2 西洋教育史 2	政治学A 2 商学B 2 教育の原理・課程論 2 心理学A 2	
		社会科学	政治学B 2 商学B 2 地理学A 2 文化人類学A 2	経済学A 2 社会学A 2 社会学B 2 文化人類学B 2	日本国憲法 2 経済学B 2 社会学B 2 心理学A 2	政治学A 2 商学A 2 教育の原理・課程論 2 心理学A 2	政治学A 2 商学A 2 教育の原理・課程論 2 心理学A 2			
	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
		統計情報 2 図形情報I 2 図形情報II 2	統計情報 2 図形情報I 2 図形情報II 2							
	総合系列科目	福岡大学で考える現代社会 2								
	学修基礎科目	データサイエンス・AI入門 2								
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1		※インターメディアイト・イングリッシュI 1 ※インターメディアイト・イングリッシュII 1 海外英語研修 2		※インターメディアイト・イングリッシュIII 1 ※インターメディアイト・イングリッシュIV 1			
			第2	△ドイツ語IA 2 △ドイツ語IB 2	ドイツ語II 2					
		△フランス語IA 2 △フランス語IB 2		フランス語II 2						
△中国語IA 2 △中国語IB 2		中国語II 2								
△ロシア語IA 2 △ロシア語IB 2		ロシア語II 2								
△スペイン語IA 2 △スペイン語IB 2		スペイン語II 2								
△朝鮮語IA 2 △朝鮮語IB 2		朝鮮語II 2								
保健体育科目		※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1		生涯スポーツ演習III 1 生涯スポーツ演習IV 1 生涯スポーツ論 2						
単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目		必修科目	化学実験 2 物理学実験 2	生物学実験 2 地球科学実験 2					卒業論文 8	
	選択必修科目		A群			地球物質科学実験I 2 地球物質科学実験II 2 地球科学野外演習 2 地球科学野外実習 2				
		B群			地球物理学実験I 2 地球物理学実験II 2 地球物理学実験III 2 地球物理学実験IV 2					
		C群			生物学実験I 3 生物学実験II 3 生化学実験 2					
	選択科目	数学I 2 数学II 2 数学III 2 力学I 2 力学II 2 化学A 2 化学B 2 地球圏科学序論 2 地球圏科学入門演習 1 地球科学I 2 地球科学II 2 地球物理学概論 2 生物科学I 2 生物科学II 2	数学IV 2 数学V 2 数学VI 2 物理学I 2 物理学II 2 物理学III 2 化学C 2 化学D 2 地球物質科学I 2 地球環境進化学I 2 地球変動科学I 2 地球物質循環学I 2 大気物理学 2 大気環境物理学 2 動物生理学 2 発生源生物学 2 生態学 2	地球物質科学II 2 地球環境進化学II 2 地球変動科学II 2 地球物質循環学II 2 地球物質化学 2 地殻進化学 2 地球化学 2 地球熱学 2 流体力学I 2 流体力学II 2 地球流体力学 2 大気環境物理学A 2 大気環境物理学B 2 気水圏物理化学 2 原子物理学 2 エレクトロニクス 2 構造生物学 2 神経生物学 2 行動生物学 2 形態形成制御学 2 進化生物学 2 植物生理学 2 エネルギー生物学 2 系統分類学 2 生物学野外実習 2 応用地球圏科学 2 理科教育法I 2 理科教育法II 2	地球圏科学特別講義A 2 地球圏科学特別講義B 2 地球圏科学特別講義C 2					

(注) [] 内は今年度休講。

令和4年度入学生（22台）

【地球圏科学科】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上	
		社会科学…………… 6 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基盤科目				
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計12単位以上	}			
	第2外国語…………… 4 単位以上					
	保健体育科目…………… 2 単位以上					
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計84単位以上	}	}	総計128単位以上	
	選択必修科目					8 単位以上
	A 群					
	B 群					
C 群						
	選択科目…………… 60 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計10単位以上	}			
	専門教育科目					

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。
 2 選択必修科目については、A・B・C群のうちのいずれかの科目群の8 単位すべてを修得しなければならない。
 3 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4 単位のうちの2 単位を限度として卒業要件単位数（128単位）に算入する。

令和4年度入学生(22台)

理学部 地球圏科学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位											
共通教育	総合	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	宗教学A 2	宗教学B 2	東洋史A 2	東洋史B 2	西アジアの文学A 2	西アジアの文学B 2	日本文化芸術A 2	日本文化芸術B 2	日本文学A 2	日本文学B 2	西日本教育史 2	西日本教育史 2		
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	商地学A 2	商地学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	法経社地学A 2	法経社地学B 2	社会心理学A 2	社会心理学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	日経社心学A 2	日経社心学B 2	憲法 2	政治学A 2	政治学B 2	政商教育の原理・課程論 2
	養	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次												
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	科目	自然科学	統計情報 2	図形情報Ⅰ 2	図形情報Ⅱ 2															
		総合系列科目	地球環境 2																	
	育	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1												
		第2	ドイツ語ⅠA 2	ドイツ語Ⅱ 2	フランス語Ⅱ 2	中国語Ⅱ 2	ロシア語Ⅱ 2	スペイン語Ⅱ 2	朝鮮語Ⅱ 2											
	専	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	生涯スポーツ演習Ⅲ 1	生涯スポーツ演習Ⅳ 1	生涯スポーツ演習Ⅱ 1	生涯スポーツ論 2													
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目																	
門教育科目	必修科目	化学実験 2	物理学実験 2	生物実験 2	地球科学実験 2												卒業論文 8			
	選択必修科目	A群					地球物質科学実験Ⅰ 2	地球物質科学実験Ⅱ 2	地球科学野外演習 2	地球科学野外実習 2										
		B群					地球物理学実験Ⅰ 2	地球物理学実験Ⅱ 2	地球物理学実験Ⅲ 2	地球物理学実験Ⅳ 2										
		C群					生物科学実験Ⅰ 3	生物科学実験Ⅱ 3	生化学実験 2											
	選択科目	数	地球物理学Ⅰ 2	地球物理学Ⅱ 2	地球物理学Ⅲ 2	地球物理学Ⅳ 2	地球物理学Ⅴ 2	地球物理学Ⅵ 2	地球物理学Ⅶ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	
		数	数力学Ⅰ 2	数力学Ⅱ 2	数力学Ⅲ 2	数力学Ⅳ 2	数力学Ⅴ 2	数力学Ⅵ 2	数力学Ⅶ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	数力学Ⅷ 2	
		力	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	
		化	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	
		化	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	
		地	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	
地		地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1		
地		地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2		
地		地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1		
地		地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2		
地		地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1		
地		地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2		
地		地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1		
地		地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2	地球圏科学序論 2		
地	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1	地球圏科学入門演習 1			

(注) []内は今年度休講。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

【地球圏科学科】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 6 単位以上	計20単位以上	}	合計34単位以上															
		社会科学…………… 6 単位以上																		
		自然科学…………… 4 単位以上																		
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計12単位以上	}	合計34単位以上															
		第1外国語…………… 8 単位以上																		
		第2外国語…………… 4 単位以上																		
	保健体育科目…………… 2 単位以上																			
	単位互換科目																			
(2)専門教育科目	必修科目…………… 16単位	}	合計84単位以上	}	総計128単位以上															
	選択必修科目																			
	<table border="0"> <tr> <td> <table border="0"> <tr> <td>A 群</td> <td rowspan="3">…………… 8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>B 群</td> </tr> <tr> <td>C 群</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>選択科目…………… 60単位以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)自由履修単位</td> <td> <table border="0"> <tr> <td>共通教育科目</td> <td rowspan="2">…………… 計10単位以上</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目</td> </tr> </table> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					<table border="0"> <tr> <td>A 群</td> <td rowspan="3">…………… 8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>B 群</td> </tr> <tr> <td>C 群</td> </tr> </table>	A 群	…………… 8 単位以上	B 群	C 群	選択科目…………… 60単位以上				(3)自由履修単位	<table border="0"> <tr> <td>共通教育科目</td> <td rowspan="2">…………… 計10単位以上</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目</td> </tr> </table>	共通教育科目	…………… 計10単位以上	専門教育科目	
	<table border="0"> <tr> <td>A 群</td> <td rowspan="3">…………… 8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>B 群</td> </tr> <tr> <td>C 群</td> </tr> </table>	A 群	…………… 8 単位以上			B 群	C 群													
A 群	…………… 8 単位以上																			
B 群																				
C 群																				
選択科目…………… 60単位以上																				
(3)自由履修単位	<table border="0"> <tr> <td>共通教育科目</td> <td rowspan="2">…………… 計10単位以上</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目</td> </tr> </table>	共通教育科目	…………… 計10単位以上	専門教育科目																
共通教育科目	…………… 計10単位以上																			
専門教育科目																				

- (注) 1 総合系列科目については、4 単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 選択必修科目については、A・B・C群のうちのいずれかの科目群の8単位すべてを修得しなければならない。
 3 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。

令和3・2・平成31年度入学生 (21・20・19台)

理学部 地球圏科学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次													
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位						
共通教育科目	総合教養	人文科学	哲学A 2	哲学B 2	論理学A 2	論理学B 2	論理学A 2	論理学B 2	論理学A 2	論理学B 2					
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	社会学A 2	社会学B 2	文化人類学A 2	文化人類学B 2	政治学A 2	政治学B 2					
	自然科学	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位						
	総合系列科目	統計情報学	2	図形情報Ⅰ	2										
		地球環境学	2	図形情報Ⅱ	2										
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1								
		第2	△ドイツ語ⅠA 2	ドイツ語Ⅱ 2	フランス語Ⅱ 2	中国語Ⅱ 2	ロシア語Ⅱ 2	スペイン語Ⅱ 2	朝鮮語Ⅱ 2						
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ 1	生涯スポーツ演習Ⅲ 1	生涯スポーツ演習Ⅳ 1	生涯スポーツ論 2									
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	化学実験 2	生物学実験 2	地球科学実験 2				卒業論文 8							
	選択必修科目	A群				地球物質科学実験Ⅰ 2	地球物質科学実験Ⅱ 2	地球科学野外演習 2	地球科学野外実習 2						
		B群				地球物理学実験Ⅰ 2	地球物理学実験Ⅱ 2	地球物理学実験Ⅲ 2	地球物理学実験Ⅳ 2						
		C群				生物学実験Ⅰ 3	生物学実験Ⅱ 3	生化学実験 2							
	選択科目	数学Ⅱ 2	数学Ⅲ 2	数学Ⅳ 2	数学Ⅴ 2	数学Ⅵ 2	地球物質科学Ⅱ 2	地球環境進化学Ⅱ 2	地球変動科学Ⅱ 2	地球物質循環学Ⅱ 2	地球物理学Ⅱ 2	地球物質化学Ⅱ 2	地球圏科学特別講義A 2	地球圏科学特別講義B 2	地球圏科学特別講義C 2
		力学Ⅰ 2	力学Ⅱ 2	物理Ⅰ 2	物理Ⅱ 2	物理Ⅲ 2	地球物質化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2
		化学Ⅰ 2	化学Ⅱ 2	物理Ⅲ 2	物理Ⅳ 2	物理Ⅴ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2
		地球圏科学序論 2	地球圏科学入門演習 1	地球物理学Ⅰ 2	地球物理学Ⅱ 2	地球物理学Ⅲ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2
		地球物理学Ⅰ 2	地球物理学Ⅱ 2	地球物理学Ⅲ 2	地球物理学Ⅳ 2	地球物理学Ⅴ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2
		地球物理学Ⅲ 2	地球物理学Ⅳ 2	地球物理学Ⅴ 2	地球物理学Ⅵ 2	地球物理学Ⅶ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2
地球物理学Ⅴ 2		地球物理学Ⅵ 2	地球物理学Ⅶ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅶ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	
地球物理学Ⅷ 2		地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球物理学Ⅷ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球進化化学Ⅱ 2	地球熱学Ⅱ 2	流体力学Ⅰ 2	流体力学Ⅱ 2	地球流体力学Ⅱ 2	大気環境物理学A 2	大気環境物理学B 2	大気環境物理学C 2	

(注) []内は今年度休講。

平成30・29年度入学生（18・17台）

【地球圏科学科】

(1)共通教育科目	{	総合教養科目	{ <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>人文科学……………</td><td>6 単位以上</td></tr> <tr><td>社会科学……………</td><td>6 単位以上</td></tr> <tr><td>自然科学……………</td><td>4 単位以上</td></tr> <tr><td>総合系列科目</td><td></td></tr> </table>	人文科学……………	6 単位以上	社会科学……………	6 単位以上	自然科学……………	4 単位以上	総合系列科目		} 計20単位以上	} 合計34単位以上
		人文科学……………	6 単位以上										
		社会科学……………	6 単位以上										
自然科学……………	4 単位以上												
総合系列科目													
外国語科目	{ <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>第1外国語……………</td><td>8 単位以上</td></tr> <tr><td>第2外国語……………</td><td>4 単位以上</td></tr> </table>	第1外国語……………	8 単位以上	第2外国語……………	4 単位以上	} 計12単位以上							
第1外国語……………	8 単位以上												
第2外国語……………	4 単位以上												
保健体育科目	……………	2 単位以上											
		単位互換科目											
(2)専門教育科目	{	必修科目	……………	16単位	} 合計84単位以上								
		選択必修科目	{ <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>A 群</td><td></td></tr> <tr><td>B 群</td><td>……………</td></tr> <tr><td>C 群</td><td></td></tr> </table>	A 群			B 群	……………	C 群		8 単位以上		
		A 群											
B 群	……………												
C 群													
選択科目	……………	60単位以上											
(3)自由履修単位	{	共通教育科目	……………										
		専門教育科目	……………										
					} 計10単位以上								
					} 総計128単位以上								

- (注) 1 総合系列科目については、4単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。
 2 選択必修科目については、A・B・C群のうちのいずれかの科目群の8単位すべてを修得しなければならない。
 3 自由履修単位のうち保健体育科目については、選択科目4単位のうちの2単位を限度として卒業要件128単位のなかに算入する。

平成30・29年度入学生 (18・17台)

理学部 地球圏科学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 国文A 2 芸術A 2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 国文B 2 芸術B 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 日本文学A 2 西日本教育史A 2 日本国憲法 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 日本文学B 2 西日本教育史B 2 西洋教育史 2	政治学A 2 商地学B 2 地理学A 2 文化人類学A 2	政治学B 2 済会学A 2 社地学B 2 文化人類学B 2	日経心 2 本国会学B 2 日経心 2 本国会学A 2	政商教心 2 治学A 2 育原論 2 理学B 2
		社会科学	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次				
	自然科学	統計情報 2 数理情報 2 地球環境 2 生命・健康と医療 2 国際化と日本 2 科学・技術・情報と社会 2 文化と教育 2 現代を生きる 2	図形情報Ⅰ 2 図形情報Ⅱ 2							
	総合系列科目									
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅡ 1 海外英語研修 2	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディアイト・イングリッシュⅣ 1						
	第2	△ドイツ語ⅠA 2 △ドイツ語ⅠB 2 △フランス語ⅠA 2 △フランス語ⅠB 2 △中国語ⅠA 2 △中国語ⅠB 2 △ロシア語ⅠA 2 △ロシア語ⅠB 2 △スペイン語ⅠA 2 △スペイン語ⅠB 2 △朝鮮語ⅠA 2 △朝鮮語ⅠB 2	ドイツ語Ⅱ 2 フランス語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 ロシア語Ⅱ 2 スペイン語Ⅱ 2 朝鮮語Ⅱ 2							
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ演習Ⅱ 1	生涯スポーツ演習Ⅲ 1 生涯スポーツ演習Ⅳ 1 生涯スポーツ論 2							
	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち理学部教授会が適当と認める科目								
	専門教育科目	必修科目	化学実験 2 物理学実験 2	生物学実験 2 地球科学実験 2		卒業論文 8				
		選択必修科目	A群			地球物質科学実験Ⅰ 2 地球物質科学実験Ⅱ 2 地球科学野外演習 2 地球科学野外実習 2				
B群					地球物理学実験Ⅰ 2 地球物理学実験Ⅱ 2 地球物理学実験Ⅲ 2 地球物理学実験Ⅳ 2					
C群					生物科学実験Ⅰ 3 生物科学実験Ⅱ 3 生化学実験 2					
選択科目		数学Ⅱ 2 数学Ⅲ 2 力学Ⅰ 2 力学Ⅱ 2 化学A 2 化学B 2 地球圏科学序論 2 地球圏科学入門演習 1 地球科学Ⅰ 2 地球科学Ⅱ 2 地球物理学論 2 地球物理学概論 2 生物科学Ⅰ 2 生物科学Ⅱ 2	数学Ⅳ 2 数学Ⅴ 2 数学Ⅵ 2 物理Ⅰ 2 物理Ⅱ 2 物理Ⅲ 2 物理Ⅳ 2 地球物質科学Ⅰ 2 地球環境進化学Ⅰ 2 地球変動科学Ⅰ 2 地球物質循環学Ⅰ 2 大気環境物理学 2 大気環境物理学B 2 気水圏物理学 2 原子物理学 2 工レクトロニクス 2 構造生物学 2 神経生物学 2 形態形成制御学 2 進化生物学 2 植物生理学 2 エネルギー生物学 2 系統分類学 2 生物学野外実習 2 応用地球圏科学 2 理科教育Ⅰ 2 理科教育Ⅱ 2	地球物質科学Ⅱ 2 地球環境進化学Ⅱ 2 地球変動科学Ⅱ 2 地球物質循環学Ⅱ 2 地球物質化学 2 地球殻進化学 2 地球化学 2 地球熱学 2 流体力学Ⅰ 2 流体力学Ⅱ 2 地球流体力学 2 大気環境物理学A 2 大気環境物理学B 2 気水圏物理学 2 原子物理学 2 工レクトロニクス 2 構造生物学 2 神経生物学 2 形態形成制御学 2 進化生物学 2 植物生理学 2 エネルギー生物学 2 系統分類学 2 生物学野外実習 2 応用地球圏科学 2 理科教育Ⅰ 2 理科教育Ⅱ 2	地球圏科学特別講義A 2 地球圏科学特別講義B 2 地球圏科学特別講義C 2					

(注) []内は今年度休講。

令和6年度入学生(24台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次49単位、第4年次38単位、第5年次37単位、第6年次29単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
 - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科の学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科の学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から6単位以上、計12単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計34単位以上、専門教育科目については18単位、総計52単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、50単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計20単位以上、専門教育科目について、1年次の必修科目1単位、1年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から9単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計15単位以上、合計36単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次の必修科目5単位、2年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から16単位以上、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から4単位以上、臨床薬学から1単位以上を含め計27単位以上、合計48単位以上、総計74単位以

上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から4単位以上、衛生薬学から4単位以上、医療薬学から10単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計25単位以上、合計80単位以上、総計108単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次の必修科目13単位、4年次の選択必修科目のうち、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から8単位以上、臨床薬学から2単位以上を含め計14単位以上、合計107単位以上、総計135単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次科目27単位以上、5年次の必修科目32単位、計139単位以上、合計167単位以上を修得していなければならない。

2 薬学部のクリニカルファーマシスト養成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第9項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和5年度入学生(23台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
 - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

- 2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

- 3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。
(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

- 2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。
(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。
(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和4年度入学生(22台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
 - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目16単位及び選択必修実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目20単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から7単位以上、計13単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計35単位以上、専門教育科目については18単位、総計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和3年度入学生 (21台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
 - 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
 - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
 - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単

位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目） 8 単位及び共通教育科目の外国語科目 8 単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第 6 条の 6 工学部の学生は、2 年以上在学し、60 単位以上を修得していなければ、第 3 年次開講科目の登録をすることはできない。

- 2 工学部の学生は、3 年以上在学し、第 1・2 年次必修の第 1 外国語科目 6 単位、選択必修の第 2 外国語科目 4 単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第 4 年次開講科目の登録をすることはできない。

- 3 第 1 項の60単位・第 2 項の100単位に算入する総合教養科目、第 1 外国語科目、第 2 外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12 単位までとする。
(2) 第 1 項の60単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 6 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。また、第 2 項の100単位に算入するのは、第 1 外国語科目の必修科目 8 単位、第 2 外国語科目の選択必修科目 4 単位までとする。
(3) 工学共通科目は、機械工学科は24 単位まで、電気工学科は20 単位まで、電子情報工学科は18 単位まで、化学システム工学科は20 単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18 単位までとする。

第 6 条の 7 医学部医学科の学生は、第 1 学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より 6 単位以上、自然科学より15 単位以上、計21 単位以上、外国語科目の第 1 外国語 8 単位、第 2 外国語 4 単位以上、計12 単位以上、保健体育科目の 2 単位、専門教育科目については18 単位、合計53 単位以上を修得しなければ、第 2 学年に進級することができない。ただし、51 単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第 2 学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第 2 学年で修得しなければならない。

- 2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は 3 年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第 1 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10 単位以上、自然科学より 2 単位以上、必修の外国語科目 4 単位、必修の保健体育科目 2 単位、計18 単位以上、専門基礎科目について必修科目の17 単位、専門教育科目について必修科目の 8 単位、合計43 単位以上を修得していなければ第 2 年次に進級することができない。

- (2) 第 2 年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の26 単位、専門教育科目について必修科目の34 単位、合計88 単位以上を修得していなければ第 3 年次に進級することができない。

- (3) 第 3 年次前期終了時において、第 3 年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の 1 単位、専門教育科目について必修科目の13 単位及び選択必修科目の 1 単位を修得していなければ、第 3 年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第 3 年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

- (4) 第 3 年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12 単位以上、自然科学より 4 単位以上、必修の外国語科目 8 単位、選択必修の外国語科目より 2 単位以上、必修の保健体育科目 2 単位、計28 単位以上、専門基礎科目について必修科目の27 単位、専門教育科目について必修科目の60 単位及び選択必修科目の 1 単位、合計116 単位以上を修得していなければ第 4 年次に進級することができない。

第 6 条の 8 薬学部の学生は、第 1 年次から第 5 年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

令和2年度入学生(20台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成31年度入学生 (19台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
 - 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。
- 3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含

め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成30年度入学生 (18台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科

目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員

は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成29年度入学生 (17台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この条において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
- (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

(3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、

3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

(1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合

(2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。